

令和5年度

決算説明資料

中頓別町

目次

歳入

地方譲与税	1
利子割交付金	1
配当割交付金	1
株式等譲渡所得割交付金	2
法人事業税交付金	2
地方消費税交付金	2
自動車税環境性能割交付金	2
国有提供施設等所在市町村助成交付金	3
地方特例交付金	3
地方交付税	3
分担金及び負担金	3
使用料及び手数料	4
国庫支出金	7
道支出金	11
財産収入	16
寄附金	18
繰入金	18
諸収入	20
町債	23
自動車取得税交付金	24

歳出

議会費	25
総務費	26
民生費	38
衛生費	45
労働費	49
農林水産業費	49
商工費	57
土木費	59
消防費	62
教育費	65

特別会計	70
------	----

※事業名右側（ ）内の数字は予算現額

【 歳入 】

地方譲与税

〈地方揮発油譲与税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方揮発油譲与税 **決算額 13,896千円(14,600千円)**

地方揮発油税(国税)の一部を市町村道の延長及び面積に按分して譲与されました。

〈自動車重量譲与税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

自動車重量譲与税 **決算額 41,895千円(41,000千円)**

自動車重量税(国税)の一部を市町村道の延長及び面積に按分して譲与されました。

〈森林環境譲与税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

森林環境譲与税 **決算額 15,570千円(15,570千円)**

間伐等の「森林の整備に関する施策」や人材育成・担い手の確保等の「森林の整備の促進に関する施策」の財源として、私有林人工林面積、林業就業者数及び人口により按分して譲与されました。

利子割交付金

〈利子割交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

利子割交付金 **決算額 67千円(200千円)**

金融機関等からの利子に課税された一部を財源として、個人道民税の額に応じて交付されました。

配当割交付金

〈配当割交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

配当割交付金 **決算額 629千円(200千円)**

上場株式等の配当に課税された一部を財源として、個人道民税の額に応じて交付されました。

株式等譲渡所得割交付金

〈株式等譲渡所得割交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

株式等譲渡所得割交付金 決算額 725千円(50千円)

株式等の譲渡所得に課税された一部を財源として、個人道民税の額に応じて交付されました。

法人事業税交付金

〈法人事業税交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

法人事業税交付金 決算額 4,043千円(3,838千円)

法人事業税の一部を財源として、市町村の従業員数に応じて交付されました。

地方消費税交付金

〈地方消費税交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方消費税交付金 決算額 45,180千円(40,000千円)

地方消費税の一部を財源として、人口及び従業員数に按分して交付されました。

自動車税環境性能割交付金

〈自動車税環境性能割交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

自動車税環境性能割交付金 決算額 5,935千円(5,631千円)

自動車税環境性能割の一部を財源として、市町村道の延長や面積に按分して交付されました。

国有提供施設等所在市町村助成交付金

〈国有提供施設等所在市町村助成交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

国有提供施設等所在市町村助成交付金 決算額 300千円(300千円)

国が所有する固定資産のうち、アメリカ軍や自衛隊の基地施設に供する固定資産について交付されました。

地方特例交付金

〈地方特例交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方特例交付金 決算額 366千円(366千円)

個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う減収の補填として交付されました。

地方交付税

〈普通交付税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

普通交付税 決算額 2,036,257千円(2,036,257千円)

基準財政需要額から基準財政収入額を差し引き、財源不足が生じたため、財源不足額に応じて交付されました。

〈特別交付税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

特別交付税 決算額 259,960千円(244,778千円)

普通交付税で捕捉されない災害等の特別な財政需要に対して交付されました。

分担金及び負担金

〈民生費負担金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

老人福祉施設入所費負担金 決算額 15,702千円(15,800千円)

老人福祉法第28条の規定に基づき、老人福祉施設入所に要した費用について、町が支弁

した者又はその家族から負担能力に応じてその費用の全額又は一部を徴収しました。

使用料及び手数料

〈総務使用料〉

(担当：建設課建設グループ)

バス転換関連施設使用料 決算額 320千円(320千円)

宗谷バス中頓別営業所の使用料として徴収しました。

地域づくり活動支援センター使用料 決算額 15千円(15千円)

地域づくり活動支援センターの使用料として徴収しました。

〈衛生使用料〉

(担当：総務課住民グループ・保健福祉課保健グループ)

火葬場使用料 決算額 485千円(385千円)

火葬場の使用料として徴収しました。

・使用件数 町内：17件×25千円、町外：2件×30千円

墓地使用料 決算額 0千円(1千円)

墓地の使用料として徴収するものです。令和5年度は実績がありませんでした。

歯科診療所使用料 決算額 5,820千円(3,030千円)

歯科診療所の使用料として徴収しました。

〈農業使用料〉

(担当：産業課産業グループ)

町営牧場使用料 決算額 3,471千円(3,471千円)

町営牧場の使用料として徴収しました。

〈土木使用料〉

(担当：建設課建設グループ)

道路使用料 決算額 1,123千円(1,126千円)

道路の占用料として徴収しました。

・電柱道路占用使用料 668千円

・電話柱道路占用使用料 455千円

公営住宅使用料 決算額 34,027千円(31,372千円)

公営住宅の使用料として徴収しました。

公営住宅車庫使用料 決算額 2,051千円(2,046千円)

公営住宅車庫の使用料として徴収しました。

・あかね団地公営住宅車庫 1,934千円

・新小頓別団地公営住宅車庫	117千円
公営住宅使用料滞納繰越分	決算額 123千円(1千円)
公営住宅の使用料として徴収するもので、前年度までに徴収できなかった使用料を徴収しました。	
独身者住宅使用料	決算額 5,928千円(6,164千円)
独身者住宅の使用料として徴収しました。	
・メモリアルハイツA	4,779千円
・メモリアルハイツB	1,149千円
特定公共住宅使用料	決算額 7,192千円(7,689千円)
特定公共住宅の使用料として徴収しました。	
・敏音知特定公共賃貸住宅	521千円
・旭台特定公共賃貸住宅	2,918千円
・あかね団地特定公共賃貸住宅	3,753千円
特定公共車庫使用料	決算額 647千円(700千円)
特定公共住宅車庫の使用料として徴収しました。	
・旭台特定公共賃貸住宅車庫	300千円
・あかね団地特定公共賃貸住宅車庫	347千円
定住促進住宅使用料	決算額 2,375千円(2,400千円)
定住促進住宅の使用料として徴収しました。	
・旧長寿園職員住宅	1,895千円
・旧町職員住宅	480千円
おためし暮らし住宅使用料	決算額 99千円(240千円)
おためし暮らし住宅の使用料として徴収しました。	
河川使用料	決算額 67千円(71千円)
河川の占用料として徴収しました。	
特定公共住宅使用料滞納繰越分	決算額 40千円(0千円)
特定公共住宅の使用料として徴収するもので、前年度までに徴収できなかった使用料を徴収しました。	
<教育使用料>	
	(担当：教育委員会教育グループ)
学校体育館使用料	決算額 56千円(23千円)
学校体育館の使用料として徴収しました。	
町体育館使用料	決算額 134千円(130千円)
町体育館の使用料として徴収しました。	
柔剣道場使用料	決算額 17千円(2千円)
柔剣道場の使用料として徴収しました。	

町民センター使用料 決算額 214千円(207千円)

町民センターの使用料として徴収しました。

郷土資料館入館料 決算額 22千円(20千円)

郷土資料館の入館料として徴収しました。

山村水泳プール使用料 決算額 10千円(10千円)

山村水泳プールの使用料として徴収しました。

〈総務手数料〉

(担当：総務課住民グループ・建設課建設グループ)

戸籍手数料 決算額 558千円(510千円)

戸籍関連の証明発行手数料として徴収しました。

住民登録手数料 決算額 272千円(276千円)

住民登録関連の証明発行手数料として徴収しました。

証明手数料 決算額 246千円(232千円)

所得証明関連等の証明発行手数料として徴収しました。

臨時運行許可手数料 決算額 4千円(3千円)

自動車臨時運行の許可証明発行手数料として徴収しました。

閲覧手数料 決算額 0千円(1千円)

住民票の閲覧手数料として徴収するものです。令和5年度は実績がありませんでした。

地籍成果簿閲覧手数料 決算額 106千円(100千円)

中頓別管内の地籍に関する成果の閲覧や複写に係る手数料として徴収しました。

屋外広告物設置許可手数料 決算額 0千円(1千円)

法令に基づき設置許可を受けた屋外広告物に係る手数料として徴収するものです。令和5年度は実績がありませんでした。

〈衛生手数料〉

(担当：総務課住民グループ・保健福祉課保健グループ)

犬登録手数料 決算額 9千円(9千円)

町内で飼育する犬の登録手数料として徴収しました。

狂犬病予防接種済票交付手数料 決算額 34千円(35千円)

狂犬病予防接種終了後に交付する狂犬病予防接種済票の交付手数料として徴収しました。

一般廃棄物処理手数料 決算額 3,573千円(3,493千円)

町内で使用する指定ごみ袋の販売手数料として徴収しました。

歯科診療所事務取扱手数料 決算額 0千円(10千円)

国保連合会に対してレセプト請求した際の事務手数料として徴収するものです。令和5年度は実績がありませんでした。

〈農業手数料〉

(担当：農業委員会事務局・産業課産業グループ)

現地目証明手数料 **決算額 3千円(3千円)**

土地の現況を証明するための発行手数料として徴収しました。

町営牧場捕獲手数料 **決算額 561千円(560千円)**

町営牧場の入牧牛の管理に要する手数料として徴収しました。

- ・一般育成牛 55千円
- ・授精対象牛 509千円

有害鳥獣処理手数料 **決算額 114千円(88千円)**

交通事故等によって、有害鳥獣等処理施設に搬入されたエゾシカの処理手数料として徴収しました。

国庫支出金

〈民生費国庫負担金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

児童手当国庫負担金 **決算額 8,859千円(10,372千円)**

中学校終了までの児童を持つ家庭に支給される児童手当に対して交付されました。

国民健康保険基盤安定国庫負担金 **決算額 1,844千円(1,724千円)**

市町村が行う国民健康保険の保険税軽減を図り、財政の安定化を目的として交付されました。

障害者自立支援給付費国庫負担金

決算額 50,178千円(53,238千円)

市町村が負担する障害福祉サービス費等に対して交付されました。

- ・障害者自立支援給付費負担金 49,718千円
- ・障害者医療費負担金 460千円

未熟児医療費等国庫負担金 **決算額 175千円(500千円)**

低体重や早産等で身体の発育が未熟なまま生まれたために入院養育が必要な乳児に対する医療費の補助に対して交付されました。

障害児入所給付費国庫負担金 **決算額 179千円(180千円)**

市町村が負担する障害児入所施設等における児童等の入所後又は委託後の保護に必要な経費等に対して交付されました。

低所得者保険料軽減負担金 **決算額 1,902千円(1,859千円)**

介護保険の1号保険料について、所得が低い層(第1～3段階保険者)に対する保険料を軽減し、その軽減分に対して2分の1相当額が交付されました。

〈衛生費国庫負担金〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

保健衛生費負担金 決算額 3,551千円(3,551千円)

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について、予防接種法の臨時接種として、国、道、市町村の協力により、円滑な接種を実施するため接種実績に応じた額が交付されました。

・新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金 3,551千円

〈総務費国庫補助金〉

(担当：総務課住民グループ・政策経営課政策経営グループ・
産業課商工労働・観光まちづくりグループ)

地方創生推進交付金 決算額 10,777千円(10,985千円)

地方の社会的課題解決、魅力向上の取り組みを加速化・深化する観点から、地域再生計画や地方版総合戦略を策定し、地方創生のための実施計画を定め、これに基づいて実施する「中頓別町版コモンズ形成事業」に対して交付されました。

年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金

決算額 222千円(16千円)

年金生活者に対する支援業務に対して交付されました。

戸籍システム事業費補助金 決算額 0千円(7,821千円)

※()は令和6年度への繰越明許費です。

戸籍システム及び住基システムの「氏名の振り仮名」を付与するためのシステム改修に対して交付されるものです。

特定地域づくり事業推進交付金 決算額 1,727千円(2,025千円)

特定地域づくり事業協同組合の事業費のうち、対象となる事業費に対して4分の1を限度として交付されました。

個人番号カード交付事務費補助金 決算額 217千円(217千円)

マイナンバーカード交付事務に係るタブレット端末の通信費等に対して交付されました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

決算額 63,672千円(63,786千円)

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を図る事業に対して交付されました。

社会保障・税番号制度システム整備費補助金 決算額 0千円(2,986千円)

※()は令和6年度への繰越明許費です。

社会保障・税番号制度の導入等に係る情報システムの整備に要する経費に対する補助金です。マイナンバーカードにローマ字表記をするための住民記録システム改修に対して交付されるものです。

〈民生費国庫補助金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

子ども・子育て支援交付金 決算額 7,650千円(5,801千円)

利用者支援事業、放課後児童健全育成事業、一時預かり事業等に対して交付されました。

地域生活支援事業費国庫補助金 決算額 344千円(770千円)

市町村が実施する成年後見制度利用支援事業や日常生活用具給付等事業等に対して交付されました。

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業補助金 決算額 0千円(510千円)

国の政策により新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分)に対する特別給付金給付事業に対して交付されるものです。令和5年度は実績がありませんでした。

保育対策総合支援事業補助金 決算額 163千円(81千円)

認定こども園における通園用バス車内置き去り防止安全装置の設置に対して交付されました。

〈衛生費国庫補助金〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

保健衛生費補助金 決算額 7,668千円(2,537千円)

市町村が実施する感染症対策、地域保健医療推進対策等の事業に対して医療の確保と健康づくりを推進することを目的として交付されました。

- ・感染症予防事業費国庫補助金 124千円
- ・疾病予防対策事業費等補助金 29千円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 6,620千円
- ・母子衛生費国庫補助金 895千円

出産・子育て応援交付金 決算額 1,533千円(9,937千円)

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように妊娠期から出産・子育てまで一貫した支援を目的として、助産師・保健師が相談支援等を行う伴走型相談支援に係る人件費等の経費や、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対して行う出産育児関連用品の購入費助成に対して交付されました。

〈土木費国庫補助金〉

(担当：建設課建設グループ)

道路橋梁費補助金 決算額 243,549千円(359,791千円)

※うち、63,871千円は、令和4年度からの繰越明許費です。

※()のうち、116,142千円は、令和6年度への繰越明許費です。

社会資本整備総合交付金(道路事業)及び道路メンテナンス事業補助金(橋梁長寿命化事業)として交付されました。

- ・秋田原野線交付金工事補助金 31,640千円

・雪寒機械更新事業補助金	20,279千円
・除雪事業補助金	1,200千円
・中頓別弥生線交付金事業補助金	93,692千円
・橋梁長寿命化事業補助金	32,867千円
・中頓別弥生線交付金事業補助金（繰越）	63,871千円

公営住宅建設事業等補助金 決算額 18,163千円（20,056千円）

社会資本整備総合交付金（営繕事業）として交付されました。

・西団地公営団地外壁改修工事	4,354千円
・あかね団地公営住宅解体工事	4,169千円
・民間賃貸住宅建設補助	8,100千円
・ひまわり団地耐力度調査	1,540千円

<教育費国庫補助金>

（担当：教育委員会教育グループ）

へき地児童生徒援助費補助金 決算額 24千円（24千円）

小学1年生及び4年生並びに中学1年生の児童生徒を対象として行う心電図検査に対して交付されました。

公立学校情報機器整備費補助金 決算額 343千円（294千円）

小中学校において情報機器を活用するための支援体制の整備に対して交付されました。

<総務費委託金>

（担当：総務課総務グループ・総務課住民グループ）

外国人登録事務委託金 決算額 165千円（161千円）

外国人に対する住民登録手続きに要する経費として交付されました。

自衛官募集事務委託金 決算額 18千円（18千円）

自衛官募集に要する経費として交付されました。

<民生費委託金>

（担当：総務課住民グループ・保健福祉課福祉グループ）

国民年金事務委託金 決算額 824千円（1,061千円）

国民年金事務である加入・変更・死亡の届出等に要する経費として交付されました。

児童福祉委託金 決算額 6千円（5千円）

特別児童扶養手当事務を執行するための経費として交付されました。

道支出金

〈総務費道負担金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

土地利用対策事業道負担金 決算額 23千円(23千円)

国土利用計画法の規定による土地取引の届出や遊休土地の利用促進、監視区域の調査に関する事務事業に対して、適正な執行を図ることを目的として交付されました。

〈民生費道負担金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

児童手当道負担金 決算額 1,374千円(2,224千円)

中学校終了までの児童を持つ家庭に支給される児童手当に対して交付されました。

社会福祉費道負担金 決算額 883千円(967千円)

民生委員等関係経費負担金取扱要綱に基づき、民生委員の活動に対して交付されました。

- ・ 民生委員活動費負担金 783千円
- ・ 民生委員協議会活動推進費負担金 100千円

国民健康保険基盤安定道負担金 決算額 5,322千円(4,592千円)

市町村が行う国民健康保険の保険料軽減を図り、財政の安定化を目的として交付されました。

障害者自立支援給付費道負担金 決算額 30,718千円(26,619千円)

市町村が負担する障害福祉サービス費等に対して交付されました。

- ・ 障害者自立支援給付費負担金 30,381千円
- ・ 障害者医療費負担金 337千円

後期高齢者医療保険基盤安定道負担金

決算額 7,375千円(7,375千円)

後期高齢者医療保険の保険料軽減を図り、財政の安定化を目的として交付されました。

未熟児医療費等道負担金 決算額 0千円(250千円)

低体重や早産等で身体の発育が未熟なまま生まれたために入院養育が必要な乳児に対する医療費の補助に対して交付されるものです。令和5年度は実績がありませんでした。

障害児入所給付費道負担金 決算額 100千円(90千円)

市町村が負担する障害児入所施設等における児童等の入所後又は委託後の保護に必要な経費等に対して交付されました。

低所得者保険料軽減負担金 決算額 915千円(929千円)

介護保険の1号保険料について、所得が低い層(第1～3段階保険者)に対する保険料を軽減し、その軽減分に対して4分の1相当額が交付されました。

〈総務費補助金〉

(担当：総務課総務グループ・政策経営課政策経営グループ)

深地層研究施設周辺地域特別対策事業補助金

決算額 10,193千円(10,193千円)

電源開発事業の理解促進及び電気の大量消費地域が受ける利益を電気の製造地域に還元することを目的として、発電用施設等の周辺地域での公共用施設の整備や住民福祉の向上に資する事業に対して交付されました。

地域づくり総合交付金

決算額 4,000千円(4,200千円)

地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取り組みの促進を図るため、地域課題の解決や地域活性化を目的として取り組む事業に対して交付されました。

- ・防災対策事業 2,200千円
- ・地域公共交通事業 1,800千円

〈民生費補助金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

老人クラブ運営費補助金

決算額 213千円(212千円)

北海道老人クラブ活動推進事業実施要綱に基づき、老人クラブ連合会が行っている活動に対して交付されました。

ひとり親家庭及び重度心身障害者補助金

決算額 2,319千円(3,027千円)

北海道医療給付事業補助金要綱に基づき、重度心身障害者及びひとり親家庭の医療費の補助に対して交付されました。

- ・重度心身障害者医療給付費事業補助金 2,255千円
- ・重度心身障害者医療事務費補助金 40千円
- ・ひとり親家庭等医療事務費補助金 24千円

乳幼児医療補助金

決算額 417千円(1,456千円)

北海道医療給付事業補助金要綱に基づき、乳幼児の医療費及び就学児の一部の医療費の補助に対して交付されました。

地域生活支援事業費道補助金

決算額 145千円(385千円)

市町村が実施する成年後見制度利用支援事業や日常生活用具給付等事業等に対して交付されました。

子ども・子育て支援交付金

決算額 5,012千円(5,801千円)

利用者支援事業、放課後児童健全育成事業、一時預かり事業等に対して交付されました。

妊産婦安心出産支援事業費補助金

決算額 77千円(109千円)

分娩可能な参加医療機関までの距離が遠く、健康診査や出産に係る交通費の助成に対して交付されました。

多子世帯の保育料軽減支援事業費補助金

決算額 267千円(814千円)

保育所を利用する第2子以降の3歳未満の保育料無償化事業に対して交付されました。

地域自殺対策緊急強化推進事業補助金 決算額 563千円(805千円)

地域自殺対策強化交付金要綱に基づき、自殺対策を主たる目的として対面や電話等の相談支援体制の拡充等に対して交付されました。

北海道低所得世帯臨時特別給付金支給事業補助金 決算額 99千円(99千円)

「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用した北海道による給付金の対象者抽出のための業務委託に係る経費に対して交付されました。

保健福祉統計調査事務経費補助金 決算額 8千円(0千円)

保健福祉統計調査事務経費交付金交付要領に基づき、厚生労働省等の実施する厚生統計調査に要する経費に対して交付されました。

<衛生費補助金>

(担当：保健福祉課保健グループ・保健福祉課福祉グループ)

健康増進事業補助金 決算額 460千円(586千円)

市町村が行う各種健(検)診事業や健康教育事業等、健康増進を目的として行っている事業に対して交付されました。

出産・子育て応援交付金 決算額 208千円(3,189千円)

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように妊娠期から出産・子育てまで一貫した支援を目的として、助産師・保健師が相談支援等を行う伴走型相談支援に係る人件費等の経費や、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対して行う出産育児関連用品の購入費助成に対して交付されました。

在宅医療提供体制強化事業補助金 決算額 1,500千円(1,500千円)

国保病院での訪問看護事業を実施し在宅医療の充実と推進することを目的として交付されました。

<農林業費補助金>

(担当：農業委員会事務局・産業課産業グループ)

農業委員会補助金 決算額 3,419千円(3,259千円)

農業委員会促進事業及び機構集積支援事業に対して交付されました。

- ・ 農業委員会交付金事業 2,134千円
- ・ 機構集積支援事業交付金 179千円
- ・ 農地利用最適化交付金 1,106千円

造林事業補助金 決算額 6,505千円(6,503千円)

町有林の間伐・下刈り・造林事業を実施する森林環境保全直接支援事業に対して交付されました。

- ・ 町有林除間伐事業補助金 2,520千円
- ・ 町有林下刈事業補助金 2,603千円
- ・ 町有林造林事業補助金 1,380千円

森林保護事業補助金 決算額 162千円(131千円)

野ネズミ駆除剤散布を実施する森林保護事業に対して交付されました。

林道開設事業補助金 決算額 12,507千円(12,505千円)

林道等整備工事事業に対して交付されました。

- ・ 林業専用道天北線開設事業補助金 8,171千円
- ・ 菊水線他1林道点検診断保全整備事業補助金 1,223千円
- ・ 幹線林道弥生線改良事業補助金 3,113千円

大家畜経営改善支援資金利子補給補助金 決算額 1千円(1千円)

各種制度資金利子補給事業のうち、大家畜経営改善支援資金利子補給事業に対して交付されました。

農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金 決算額 5千円(4千円)

認定農業者支援事業における、農業経営基盤強化資金利子助成事業に対して交付されました。

畜産経営維持緊急支援資金利子補給補助金 決算額 66千円(66千円)

各種制度資金利子補給事業のうち、畜産経営維持緊急支援資金利子補給事業に対して交付されました。

中山間地域等直接支払交付金 決算額 30,123千円(30,122千円)

中山間地域等直接支払交付金事業に対して交付されました。

中山間地域等直接支払推進交付金 決算額 62千円(62千円)

中山間地域等直接支払交付金事業を円滑に推進することを目的として交付されました。

ふるさとの山づくり総合対策事業補助金

決算額 5,714千円(6,323千円)

民有林の造林事業の支援を行う豊かな森づくり推進事業に対して交付されました。

大家畜特別支援資金利子補給事業補助金 決算額 134千円(134千円)

各種制度資金利子補給事業のうち、大家畜特別支援資金利子補給事業に対して交付されました。

多面的機能支払事業補助金 決算額 2,776千円(2,776千円)

多面的機能支払事業に対して交付されました。

次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業補助金

決算額 670千円(670千円)

草地整備型公共牧場整備事業において、参加農家が行う排水整備改良工事に対して交付されました。

地域づくり総合交付金 決算額 627千円(577千円)

神崎牧場内の小河川の洗堀防止工事及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の対象外となるエゾシカの捕獲に対して交付されました。

- ・ 農業振興事業 517千円
- ・ 中頓別町エゾシカ有害捕獲事業 110千円

林業専用道上頓別線開設事業補助金

決算額 12,745千円(12,744千円)

林道等整備工事事業に対して交付されました。

鳥獣被害防止総合対策事業補助金 決算額 3,999千円(4,000千円)

国が実施する鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業によるエゾシカの捕獲に対して交付されました。

春季管理捕獲支援事業補助金 決算額 115千円(172千円)

ヒグマの人里への出没を抑制するため、北海道が進める春期管理捕獲事業を実施する市町村に対して交付されました。

<教育費補助金>

(担当：教育委員会教育グループ)

教育支援活動促進事業補助金 決算額 628千円(668千円)

地域活性化のための仕組みづくりや施策を組み合わせ、地域気を将来を担う子どもたちを育成し、地域創成の実現を目指すことを目的として交付されました。

- ・北海道学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金

<総務費委託金>

(担当：総務課総務グループ・選挙管理委員会事務局・総務課住民グループ・政策経営課政策経営グループ)

統計調査事務委託金 決算額 137千円(137千円)

各種統計調査事務を執行するための経費として交付されました。

- ・学校基本調査市町村交付金 8千円
- ・経済センサス調査区管理市町村交付金 4千円
- ・住宅・土地統計調査市町村交付金 122千円
- ・農林業センサス事前準備経費市町村交付金 3千円

徴税费事務委託金 決算額 2,388千円(2,399千円)

当該年度の納税義務者数を基準として、住民税事務に要する経費として交付されました。

戸籍住民登録費委託金 決算額 10千円(8千円)

国が実施する厚生統計調査に伴い、町の人口動態調査事務に要する経費として交付されました。

- ・人口動態調査事務委託金 10千円

北海道権限移譲事務委託金 決算額 116千円(116千円)

権限の移譲事務に要する経費として交付されました。

在外選挙委託金 決算額 0千円(1千円)

在外選挙人に関する事務費として交付されるものです。令和5年度は実績がありませんでした。

知事・道議会議員選挙委託金 **決算額 1,051千円(1,706千円)**
令和5年4月9日執行の知事・道議会議員選挙に要する経費として交付されました。

<農林業費委託金>

(担当：産業課産業グループ)

家畜法定伝染病事務委託金 **決算額 1千円(1千円)**
家畜のみつばちふそ病検査手数料及び証明書発行手数料として交付されました。

農業農村整備事業監督等補助業務委託金 **決算額 104千円(104千円)**
道営草地整備型公共牧場整備事業の円滑な事業実施を進めるための経費として交付されました。

<土木費委託金>

(担当：建設課建設グループ)

河川管理委託金 **決算額 941千円(847千円)**
樋門樋管を管理するための経費として交付されました。

建築基準法業務委託金 **決算額 36千円(20千円)**
建築基準法事務を執行するための経費として交付されました。

建設リサイクル法業務委託金 **決算額 13千円(7千円)**
建設リサイクル法事務を執行するための経費として交付されました。

財産収入

<財産運用収入>

(担当：政策経営課政策経営グループ)

利子及び配当金 **決算額 96千円(79千円)**
町が所有する基金の利子及び有価証券の配当金です。

- ・ 株式配当金 11千円
- ・ 基金利子 85千円

<財産貸付収入>

(担当：建設課建設グループ)

土地貸付収入 **決算額 2,737千円(2,734千円)**
町が所有する土地の貸付料として徴収しました。

- ・ 北海道電力(株)ほか 2,093千円
- ・ 国営草地弥生団地採草地貸付収入 644千円

建物貸付収入 **決算額 2,321千円(2,743千円)**
町が所有する建物の貸付料として徴収しました。

・教職員住宅貸付料 2, 3 2 1千円
施設貸付収入 決算額 6, 3 3 5千円 (5, 1 4 3千円)

町が所有する施設の貸付料として徴収しました。

・旧中頓別加工事務所貸付料	5 8千円
・旧敏音知教員住宅貸付料	9 0千円
・旧松音知教員住宅貸付料	7 9千円
・旧小頓別教員住宅貸付料	3 4 9千円
・旧宮下土木現業所車庫貸付料	3 9千円
・旧町職員住宅貸付料	8 7 2千円
・旧農業高校教員住宅貸付料	3, 8 3 1千円
・旧公衆浴場黄金湯貸付料	1 0 9千円
・町有施設貸付料	3 1千円
・宗谷森林管理署中頓別公務員宿舍貸付料	2 3 2千円
・旧消防吏員待機宿舍貸付料	6 4 5千円

施設貸付収入滞納繰越分 決算額 1 7 2千円 (0千円)

町が所有する施設の貸付料として徴収するもので、前年度までに徴収できなかった貸付料を徴収しました。

<不動産売払収入>

(担当：建設課建設グループ)

土地売払収入 決算額 7 5 6千円 (1千円)

町が所有する土地の売払いによる収入です。

建物売払収入 決算額 0千円 (1千円)

町が所有する建物の売払いによる収入です。

<物品売払収入>

(担当：建設課建設グループ)

物品売払収入 決算額 1, 3 7 2千円 (1千円)

町が所有する物品の売払いによる収入です。

<生産物売払収入>

(担当：産業課産業グループ)

立木売払収入 決算額 1 1, 4 9 3千円 (8, 3 8 3千円)

町が実施する町有林の主伐や間伐で発生した立木の売払いによる収入です。

寄附金

<一般寄附金>

(担当：総務課総務グループ)

一般寄附金 **決算額 210千円(211千円)**

一般寄附金として、企業及び個人から3件の寄附をいただきました。

<指定寄附金>

(担当：政策経営課政策経営グループ)

指定寄附金 **決算額 30,361千円(25,000千円)**

「豊かな自然環境の保全及び活用」や「未来を担う子どもの健全育成及び教育」等の用途を特定した寄附(ふるさと納税)や、地域公共交通確保対策プロジェクトへの寄附(企業版ふるさと納税)をいただきました。

- | | |
|------------|----------|
| ・ふるさと納税 | 21,061千円 |
| ・企業版ふるさと納税 | 9,300千円 |

繰入金

<長寿園施設改修拡張事業基金繰入金>

(担当：政策経営課政策経営グループ)

長寿園施設改修拡張事業基金繰入金

決算額 27,205千円(27,205千円)

老人ホーム長寿園の施設改修拡張事業に要する経費の財源として積立した基金です。事業実施時に発行した過疎対策事業債の令和5年度償還分に充てるため取り崩しました。

<地域活性化基金繰入金>

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地域活性化基金繰入金 **決算額 86,195千円(86,262千円)**

地域医療の確保、住民の日常的な交通手段の確保をはじめ、地域住民が将来にわたり安心して暮らすことができる地域社会の実現を図るための経費の財源として積立した基金です。過疎対策事業債及び辺地対策事業債の令和5年度償還分に充てるため取り崩しました。

- | | |
|-------|----------|
| ・ソフト分 | 71,314千円 |
| ・ハード分 | 14,881千円 |

〈まちづくり基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

まちづくり基金繰入金 決算額 21,034千円(21,196千円)

まちづくりに資する事業の財源として積立した基金です。第8期総合計画における町民アイデアである「7つのアクション」のフォローアップやこれからの学校づくりワークショップ等の経費に充てるため取り崩しました。

〈未来を担うこどもの健全育成と教育の基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

**未来を担うこどもの健全育成と教育の基金繰入金
決算額 0千円(18,968千円)**

次代を担う子ども達の健やかな成長と教育の向上に資する事業の財源として積立した基金です。令和5年度は取り崩しを行いませんでした。

〈地方創生基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方創生基金繰入金 決算額 28,049千円(34,896千円)

人口減少対策、地方創生を目的とした事業の財源として積立した基金です。醸造用ブドウ栽培に要する設備の導入やミルクプラント運営等の経費に充てるため取り崩しました。

〈公共施設整備等基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

公共施設整備等基金繰入金 決算額 130,661千円(134,263千円)

公共施設の整備及び解体に要する経費の財源として積立した基金です。一般廃棄物処理施設の高圧受電設備等更新工事や中頓別学園整備に係る基本設計業務等の経費に充てるため取り崩しました。

〈畜産振興基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

畜産振興基金繰入金 決算額 2,481千円(2,500千円)

畜産振興に資する経費の財源として積立した基金です。牧草地更新を実施した酪農家に対する補助金に充てるため取り崩しました。

〈奨学金等償還支援基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

奨学金等償還支援基金繰入金 決算額 0千円(2,684千円)

中頓別町内における就業を促進し、地域の担い手となる人材を確保するため、奨学金等の償還支援を行い、若者の町外流出の抑制と町外からの流入と定住の促進を図ることを目的と

した施策に要する経費の財源として積立した基金です。令和5年度は取り崩しを行いませんでした。

〈森林環境譲与税基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

森林環境譲与税基金繰入金 **決算額 26,721千円(26,830千円)**

間伐や人材育成、担い手確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源として積立した基金です。公共施設の木質化・木造化に向けた検討や高性能林業機械導入に対する助成金等の経費に充てるため取り崩しました。

〈財政調整基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

財政調整基金繰入金 **決算額 90,300千円(90,300千円)**

災害対策、その他必要やむを得ない財政需要に応ずる財源として積立した基金です。水道事業及び下水道事業が令和6年4月1日付けで地方公営企業法を適用することに伴い、運転資金の繰り出しが必要となったため取り崩しました。

諸収入

〈延滞金〉

(担当：総務課住民グループ)

延滞金 **決算額 0千円(1千円)**

町税を納期限後に納める場合に、納期限の翌日から納める日までの期間の日数に応じ、一定の割合で計算した額を町税と合わせて納めていただくものです。令和5年度は実績がありませんでした。

〈預金利子〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

預金利子 **決算額 7千円(10千円)**

各金融機関へ預け入れしている定期預金の利子です。

〈中小企業融資貸付金収入〉

(担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ)

中小企業融資貸付金収入 **決算額 20,000千円(20,010千円)**

中頓別町中小企業振興資金融資条例に基づき、令和5年度に町から金融機関に預託していた資金です。同条例では、町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関から町内中小企業へ有利な融資を行っています。

〈後期高齢者医療広域連合受託事業収入〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

後期高齢者医療広域連合受託事業収入

決算額 9,692千円(9,380千円)

後期高齢者医療広域連合から委託を受けて実施している事業に要する経費として支払われた収入です。

・ 高齢者健康診査事業委託料	287千円
・ 後期高齢者歯科健康診査事業委託料	19千円
・ 保健・介護一体的実施推進事業委託料	8,947千円
・ 健康診査等受診率向上特別事業費補助金	439千円

〈介護保険サービス収入〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

居宅介護予防サービス計画費収入

決算額 794千円(600千円)

介護予防支援事業所の介護支援専門員が要支援者の介護予防サービス計画(ケアプラン)の作成に対する報酬として支払われた収入です。

〈雑入〉

雑入

決算額 39,315千円(38,557千円)

他の歳入科目に該当しない収入です。

・ 電気料	88千円
・ 学校健康会掛金	36千円
・ 重度心身障害者等高額療養費個人負担金	243千円
・ 公営住宅等し尿浄化槽委託料個人負担金	118千円
・ 生命保険団体取扱手数料	78千円
・ こども園職員給食代	216千円
・ 雇用保険個人負担分	762千円
・ 農業者年金事務委託金	248千円
・ 宝くじ交付金	3,160千円
・ 新年交礼会会費	47千円
・ 後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業特別対策補助金	30千円
・ リサイクル売り渡し代金	1,420千円
・ 廃食油売渡代金	8千円
・ 日本スポーツ振興センター共済掛金	9千円
・ 草地畜産基盤整備事業参加者負担金	15,643千円
・ 印刷代	103千円
・ コピー代	43千円

・地図代	1千円
・鍾乳洞ふれあい公園協力金	95千円
・著作権利用料	2千円
・建物災害共済保険	670千円
・再商品化合理化拠出金	82千円
・郵便代	56千円
・狂犬病予防注射案内文書郵送料負担金	2千円
・飲用乳等売上料	2,687千円
・研修センター研修受講助成金	169千円
・まちづくり・人づくり推進交付金	461千円
・老人福祉施設措置費精算分	4,575千円
・地域づくり研修会助成金（健康教育事業）	122千円
・地域づくり研修会助成金（社会教育推進事業）	128千円
・町史販売代金	10千円
・ライドシェアガソリン代	16千円
・中頓別町受託事業に係る清算金	925千円
・精通者謝金	5千円
・頭の検診個人負担金	225千円
・在宅老人デイサービスセンター運営事業補助清算金	1,552千円
・時間外勤務手当	27千円
・ライドシェア保険料払い戻し金	1千円
・デマンドバス浜頓別町負担金	175千円
・電気利用効率化促進対策事業（ほくでん節電達成特典）	70千円
・地域公共交通浜頓別町負担金	714千円
・デマンドバス料金収入	488千円
・地域生活サポート事業利用料	17千円
・その他受領金	1,290千円
・医療・介護・障がい施設等物価高騰対策支援金	100千円
・歯科診療所オンライン資格確認システム導入事業補助金	429千円
・地域農産物販売収入	27千円
・生命共済保険推進交付金	43千円
・がん保険集金事務費	79千円
・職員手当戻入（過年度分）	557千円
・市町村アカデミー受講助成金	30千円
・人材育成等事業費助成金	200千円
・銃猟免許取得補助金返還金	25千円
・農地保有合理化事業等委託金	8千円
・施設設備整備負担金	1,000千円

〈過年度収入〉

国庫支出金

決算額 850千円(850千円)

前年度以前に実施した事業に対して交付される補助金です。

令和4年度に実施した電気自動車(EV車)の購入に対する補助金ですが、納車の遅延等により令和5年度に交付されました。

- ・クリーンエネルギー自動車導入促進補助金 850千円

町債

〈過疎対策事業債〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

過疎対策事業債

決算額 678,500千円(947,300千円)

※うち、88,200千円は、令和4年度からの繰越明許費です。

※()のうち、267,800千円は、令和6年度への繰越明許費です。

過疎地域持続的発展市町村計画に基づき実施する事業の財源として発行しました。

- ・過疎地域持続的発展特別事業 63,700千円
- ・森林管理道松麿線開設事業 22,400千円
- ・橋梁長寿命化修繕事業 13,900千円
- ・消火栓移設事業 3,300千円
- ・医療機械器具購入事業 1,200千円
- ・特定環境保全公共下水道整備事業 2,300千円
- ・中頓別弥生線交付金事業 45,900千円
- ・除雪機械購入事業 41,000千円
- ・草地整備型公共牧場整備事業 99,500千円
- ・中頓別浄水場設備更新事業 71,600千円
- ・認定こども園遊具整備事業 111,800千円
- ・藤井原野線整備事業 22,300千円
- ・橋梁添架管・配水管布設替事業 1,400千円
- ・林業専用道天北線開設事業 7,800千円
- ・林業専用道上頓別線開設事業 6,900千円
- ・幹線林道弥生線改良事業 2,900千円
- ・秋田原野線交付金事業 25,300千円
- ・導水管布設替事業 4,000千円
- ・中頓別学園整備事業 22,800千円
- ・あかね地区公共柵設置事業 600千円
- ・大畑山展望台広場整備事業 1,100千円

・ 敏音知岳登山道整備事業	1, 900千円
・ 醸造用ブドウ栽培圃場電気柵整備事業	2, 600千円
・ 川向敏音知線機能改善事業	3, 000千円
・ 中頓別町コミュニティ施設整備事業	2, 000千円
・ 中頓別町営牧場配水管布設替事業	9, 100千円
・ 中頓別弥生線交付金事業（繰越）	39, 300千円
・ 中頓別浄水場設備更新事業（繰越）	48, 900千円

〈臨時財政対策債〉

（担当：政策経営課政策経営グループ）

臨時財政対策債 決算額 7, 981千円（7, 981千円）

地方交付税が財源不足額に満たなかったため、不足額の補填として発行しました。

〈緊急自然災害防止対策事業債〉

（担当：政策経営課政策経営グループ）

緊急自然災害防止対策事業債 決算額 11, 300千円（11, 300千円）

緊急自然災害防止対策事業計画において緊急に実施するべき事業として位置付けられた災害発生予防及び災害拡大防止に係る事業の財源として発行しました。

・ 道路施設予防保全事業	11, 300千円
--------------	-----------

〈公共施設等適正管理推進事業債〉

（担当：政策経営課政策経営グループ）

公共施設等適正管理推進事業債 決算額 18, 600千円（18, 600千円）

公共施設等総合管理計画に基づき実施する公共施設の維持管理・更新等に係る事業の財源として発行しました。

・ 道路長寿命化事業	18, 600千円
------------	-----------

自動車取得税交付金

〈自動車取得税交付金〉

（担当：政策経営課政策経営グループ）

自動車取得税交付金 決算額 493千円（157千円）

自動車取得税の一部を財源として、市町村道の延長や面積に按分して交付されるものです。令和元年10月から自動車税環境性能割が導入されたことに伴い制度は廃止されましたが、自動車メーカーの排出ガス・燃費性能試験における不正行為により、自動車取得税の追加徴収が行われたため、令和5年度に追加交付されました。

【 歳出 】

議会費

〈議会費〉

(担当：議会事務局)

議会事務事業 **決算額 47,946千円(48,276千円)**

この経費は、主として議員の報酬、期末手当、定例会や臨時会、各委員会等の会議出席に伴う費用弁償に使われるほか、町議会の活動状況を広く町民に周知し、議会に対する理解と認識を深めてもらうための議会広報発行費用、議事録作成に係る会議録調製委託料、事務局職員の人件費等に充てました。

■議員に関する経費

- 議員の報酬、期末手当、議員共済負担金・事務費 27,582千円
- 定例会や臨時会、各委員会、研修や視察等の費用弁償 771千円
- 議員公務災害補償組合負担金 55千円

■職員に関する経費

- 事務局職員の給料、各種手当、共済組合負担金 16,213千円
- 事務局職員の普通旅費、協議会負担金 282千円
- 退職手当組合事前納付金、退職手当組合負担金 876千円
- 管内議長会各種負担金 31千円

■事務的経費

- 議会だより印刷費 945千円
- 議会だより配付料 4千円
- 車両燃料費、高速料金、駐車場代 41千円
- 法令集追録代や議会関連雑誌定期購読代、消耗品代 283千円
- 会議録調製委託料 773千円
- 備品購入費 33千円

■その他の経費

- 議長交際費 57千円

【参考】

○宗谷管内町村議会議員年収比較

(令和5年7月1日現在)

町村名	順	議長 (円)	順位	副議長 (円)	順位	委員長 (円)	順位	議員 (円)
中頓別町	⑥	3,600,000	⑦	2,894,400	⑦	2,736,000	⑦	2,577,600
管内平均		3,815,111		3,120,767		2,961,989		2,803,211

(順位は、宗谷管内8町1村中の順位)

総務費

〈一般管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

儀式典礼事業 決算額 75千円(100千円)

自治記念式、神社祭、檜原民之助氏慰霊祭、新年交礼会等の行事に要する経費を執行しました。

行政改革事務事業 決算額 11千円(22千円)

3月に行政改革推進委員会を開催し、職員給料、職員数のほか、公共事業費、実質公債費比率の推移の状況を説明しています。職員定数に関しましては、長寿園が令和6年4月から町営となることに伴い職員定数が40名追加となることから、定員管理計画の変更について説明を行っています。

自衛官募集事務事業 決算額 17千円(28千円)

自衛隊員募集・確保のため自衛隊募集推進協議会と連携して円滑な活動を図ることとしています。自衛官募集に係る事務を執行しました。協議会負担金は令和5年度も請求がありませんでした。

人事管理事務事業 決算額 504,367千円(527,590千円)

特別職、一般職及び会計年度任用職員の給料支給のほか、共済事務や健康診断等の福利厚生事務、職員の研修や進退に関する事務等、組織の内部管理事務のために要した経費です。

職員採用については、社会人採用4名、初級1名、上級4名、専門職4名を採用しています。人事評価では、職員一人ひとりが期首目標を立て、中間評価、期末評価においてそれぞれ面談を行い、達成状況を確認することで業務推進と評価を行っています。

町村会事務事業 決算額 2,605千円(2,605千円)

宗谷町村会は、宗谷管内のすべての町村で組織し、町村に共通する業務として、中央要望や政策懇談会等の政務活動のほか、職員採用、職員研修の共同実施等の事業を行っており、構成する町村規模に応じた経費を運営費として負担しています。

法制事務事業 決算額 2,692千円(2,693千円)

町例規システムの保守管理、例規の改正等によるデータの更新及び条例制定や改正に関する審査を委託しています。令和5年度では、法解釈データベースシステムを導入しています。

総務関連事務事業 決算額 8,409千円(9,146千円)

特別職の出張旅費のほか、郵送料、図書追録等、総務課の一般的な事務を行うために必要な経費を支出しました。令和5年度では、令和6年1月に発生した能登半島地震に対する支援として、災害見舞金1,000千円を計上し被災地に送っています。

職員研修事業 決算額 4,853千円(5,505千円)

職員の意識革命、資質向上を図り、より高度な行政課題への対応、住民サービスの向上に資するため、計画的に職員を研修させるほか、法務研修等の専門研修や業務に必要な技術的な講習を受講させ、職員の資質向上を図っています。令和5年度では、前年度に引き続きDX推進に関する全管理職向けの研修、若手職員はDX推進に関する知識の向上と企画立

案の手法について研修を実施しました。

中頓別町奨学金等償還支援事業 決算額 2,396千円(2,684千円)

中頓別町内への就業を促進し、地域の担い手となる人材を確保するため、町内事業所等に就業中、或いは就業予定があり、町内に住所があるか定住をする見込みがある者に対し奨学金の償還支援を行い、若者の町外流出の抑制と町外からの定住促進を図っています。令和5年度では13名に奨学金償還支援を行いました。

〈財政管理費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

財政管理事業 決算額 2,007千円(2,173千円)

財政状況ヒアリング等に係る旅費及び車両燃料費、また、口座振替手数料や窓口収納手数料等を支出しました。

物品管理事業 決算額 4,240千円(4,306千円)

職員が業務上必要な事務用品やコピー機・印刷機の保守に係る経費を支出しました。

財務会計管理事業 決算額 9,173千円(9,174千円)

会計処理や財務情報の管理を行うための財務会計システムの保守に係る経費のほか、令和5年10月1日より適用された消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)へ対応するためのシステム改修及びOSのサポートが令和5年10月末に終了したことに伴うバージョンアップを行いました。また、起債の償還管理や償還シミュレーション等を行うために利用している起債管理システムが故障により利用不可能となったため更新を行いました。

- ・財務会計システム保守業務委託料 1,901千円
- ・財務会計システムインボイス制度対応改修業務委託料 1,596千円
- ・財務会計システムOSバージョンアップ業務委託料 5,346千円
- ・起債管理システム更新業務委託料 330千円

〈文書広報費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

広報公聴事業 決算額 6,470千円(6,510千円)

町民の暮らしに密着した情報や町の魅力を発信するための経費です。

・広報誌なかとんべつの発行

町が抱える様々な問題や課題、町で起きている出来事等をタイムリーにお知らせしました。

町民の情報に関するニーズをしっかりと捕捉し、特集等を中心に紙面の見直しを進めながら内容の充実を図りました。

・広報なかとんべつ お知らせ版の発行

健康相談の日程や様々な行政の情報をお知らせ版として月2回を発行し、町民への情報提供と周知を図りました。

・街頭放送の実施

町のお知らせや緊急放送等町内（市街地のみ）への周知手段として町内の街頭放送を運営する中頓別町街頭放送協会に加盟しています。

・町政懇談会「町長がおじゃまします」の実施

町内の希望団体、希望自治会を対象とし、令和5年度は「人生100年の学びの拠点 中頓別学園」や「地域医療提供体制と一体的見直し」について地域住民への説明会を兼ねて行いました。

〈財産管理費〉

（担当：建設課建設グループ）

町有財産維持管理事業 決算額 23,558千円（24,638千円）

町有財産に係る損害保険料や建物等の維持管理に関する経費を支出しました。

- ・旭台旧職員住宅屋根修繕工事 3,916千円
- ・メモリアルハイツA駐車場照明修繕工事 792千円
- ・町有住宅屋根葺替工事 1,441千円
- ・町有施設関係小破修繕料（町有住宅等修繕） 1,188千円

役場庁舎維持管理事業 決算額 7,350千円（7,389千円）

庁舎の電気料や電話料等、建物の維持管理に関する経費を支出しました。

- ・役場庁舎管理委託料 2,832千円
- ・自動ドア装置保守点検業務委託料 59千円
- ・役場庁舎備品購入（プロジェクタースクリーン） 53千円

建設設計業務支援事業 決算額 8,580千円（8,635千円）

町有建物等の施設整備及び維持保全に係る技術支援業務に関する経費を支出しました。

- ・維持保全工事等支援業務委託料 6,105千円
- ・学校建設基本設計支援業務委託料 2,475千円

〈企画費〉

（担当：政策経営課政策経営グループ・産業課商工労働・観光まちづくりグループ）

いきいきふるさと推進事業 決算額 4,078千円（4,710千円）

町内に転入された方へ、中頓別で生活する上で必要な情報の提供を行っています。

また、結婚や子育てに対しては祝金等の贈呈や支援を行い、地域が温かい気持ちで支えあうまちづくりを目指しています。

- ・転入支援事業
 - 中頓別町生活情報誌の配布 24千円
 - なかとん牛乳引換券の配布 56千円
 - 就職祝金 300千円
- ・就学支援事業
 - 通学バスの運賃補助 715千円
 - 高等学校等通学家庭補助 700千円
- ・結婚支援事業
 - 結婚祝金（夫婦1組300,000円） 900千円
- ・子育て支援事業
 - 出生祝金 1,000千円

- ・第1子～第2子 10万円（内5万円分商工会発行商品券）
- ・第3子以降 30万円（内5万円分商工会発行商品券）
- 絵本プレゼント（1歳児、1歳6ヶ月児、3歳児を対象に1人2冊を乳幼児健診時に手渡し） 49千円
- 紙オムツ、紙オムツ用ごみ袋 334千円

移住定住促進事業 決算額 1,091千円（1,098千円）

平成18年度から北海道移住促進協議会に参画し、移住・定住を促進するための事業に取り組んでいます。現在は、3棟のおためし暮らし用住宅を用意して受入を行っており、令和5年度は5組6名の方々のご利用がありました。この取り組みを通じて二地域居住や移住へと繋げていけるように今後も継続していきます。

- ・北海道移住交流促進協議会負担金 50千円
- ・ふるさと回帰支援センター正会員年会費 50千円
- ・おためし暮らし住宅の修繕、維持管理費 373千円
- ・移住検討者向けパンフレット作製費用 242千円
- ・移住フェア実施に係る需用費、役務費、職員旅費等 376千円

移住体験事業実績

	おためし暮らし	二地域居住	完全移住
～H30	90組 182人 延4,619日	4組 12人	6組 10人
H31(R1)	7組 10人 延 400日	—	1組 1人
R2	2組 3人 延 90日	—	—
R3	4組 10人 延 250日	—	—
R4	5組 7人 延1,287日	—	1組 2人
R5	5組 6人 延1,129日	—	—
計	113組 218人 延7,775日	4組 12人	8組 13人

企画総務事業 決算額 442千円（683千円）

政策経営課の一般的な事務を行うために必要な経費です。

- ・旅費 170千円
 - 職員旅費 170千円
- ・需用費 165千円
 - 消耗品費 1千円
 - 車両燃料費 125千円
 - 車両維持費（オイル交換ほか） 39千円
- ・負担金 107千円
 - 宗谷本線活性化推進協議会 20千円
 - 全国積雪寒冷地帯振興協議会 2千円
 - 全国山村振興連盟北海道支部 45千円
 - 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター 10千円
 - 市町村長政策研究会 30千円

全国過疎地域自立促進連盟事業 **決算額 129千円(130千円)**

過疎地域における産業、経済の開発振興と地域住民の生活、文化の安定向上を図る、全国過疎地域自立促進連盟と連携し、過疎地域対策の充実強化を図っています。

総合開発委員会事業 **決算額 8,649千円(8,743千円)**

令和4年度から第8期総合計画がスタートしました。この10年間のまちづくりとなるキャッチフレーズは「小さな中頓別(まち)のしあわせをデザインする」で、高齢者人口が近いうちに減少する方向に転じ、人口減少がさらに進む時代となり、ますます小さなまちになってしまいます。それでも町民一人ひとりの参加と協働により、あたたかな、安心して、充実した暮らしのある、豊かさと楽しさを生みだすまちになることを目指します。

この計画の推進管理を重点的に行うとともに、計画策定の段階でたくさんの町民の皆さんにご協力をいただいて策定した計画には、町民アイデアである「7つのアクション」からなる7チームの個別状況に合わせてながら、そのフォローアップ体制を構築(活動コーディネーターの配置等)して実現できるようにミーティングを重ね、各種活動となるプログラムを企画して町民参加型の意見交換会や、ワークショップを実践してきました。取り組み内容は、広報誌やSNSによる周知、情報発信を工夫を重ねながら(フリーペーパーを公共施設に設置)積極的に行いました。

第8期総合計画本編はスマートフォン等で詳細を閲覧していただく仕組みとしてウェブサイト運用しています。今回は一人でも多くの方に閲覧していただけるように活動コーディネーターによる小学6年生、中学生全学年向け出前授業を実践しました。

また、第2回町民幸福度アンケート調査(前回は令和2年度に実施)を実施し、この3年間における町内での幸福度の変化を聞き取り、前回調査との比較分析を実施しました。調査結果は広報なかとんべつの紙面にてお知らせしました。

- ・委員会の開催(外部評価委員会・総合戦略推進委員会合同会議 3回) 64千円
- ・委員等旅費 1千円
- ・地域おこし協力隊員経費 3,653千円
- ・第8期総合計画フォローアップ業務委託料 3,575千円

※チーム別プログラム・全体会議

全22回開催 町民メンバー 延 81人参加(事務局含)

一般参加者 延105人参加

事務局打合せ 週1回実施

- ・チーム活動消耗品ほか 79千円
- ・外部サーバー使用料ほか 30千円
- ・第2回町民幸福度アンケート調査集計分析業務委託料 1,247千円

地方バス路線維持対策事業 **決算額 23,151千円(23,151千円)**

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始し、これまで関連市町村で連携を取り、対策協議会により様々な対策を検討してきました。

令和5年度においても、バス路線を維持するために必要な補助を行ったほか、都市間バス天北号への補助を行いました。

- ・地方バス路線維持対策費補助金 20,144千円
- ・天北号維持確保対策補助金 3,007千円

土地利用等規制対策事業 決算額 23千円(23千円)

国土利用計画法に基づく規制、誘導や土地取引の届出事務に要する経費です。

地域づくり活動支援補助事業 決算額 350千円(500千円)

町民による地域特性や地域資源を活かした地域づくりを推進する活動に対して補助金を交付することにより、地域振興と町民福祉の向上を図ることを目的としています。令和5年度は2事業に対して補助を行いました。

- ・コミュニティでつくる子育てと自然体験事業 240千円
- ・なかとんアカデミー開催事業 110千円

定住自立圏事業 決算額 3千円(5千円)

中心市宣言(定住自立圏構想推進要綱第4に規定)を行った「稚内市」「名寄市及び士別市」と相互に役割を分担し連携しながら、定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、安心して暮らせる定住自立圏を形成することを目的として取り組んでいます。

- ・職員旅費 1千円
- ・車両燃料費 2千円

まちづくり団体支援事業 決算額 50千円(51千円)

地域の振興や発展に向けたまちづくり活動を行う団体に対して支援を行いました。

- ・北海道日本ハムファイターズ中頓別後援会助成金 50千円

地域青年交流の場設定事業 決算額 955千円(1,051千円)

地域の青年同士の交流機会を創出すべく、なかとんべつ青年交流事業実行委員会が主体となって異業種間交流を進めてきました。

令和5年度は地域での取り組みの先進事例を学ぶため、先進地視察として栗山町を訪問しました。また、視察で得た知見を中頓別町にフィードバックするため、視察報告会を実施しました。

- ・アドバイザー報償費 67千円
- ・なかとんべつ青年交流事業実行委員会補助金 888千円

ふるさと応援寄附事業 決算額 11,313千円(12,500千円)

中頓別町を応援していただける町外の方から広く寄附金を募り、これを財源に環境保全や子どもの健全育成等の各種事業に活かしています。

令和5年度は2,499件、21,061千円の寄附金をいただき、地域の特産品を返礼品として贈りました。

- ・ふるさと応援寄附返礼 4,394千円
- ・送料 2,784千円
- ・手数料(サイト利用料・決済手数料等) 2,078千円
- ・委託料(サイト運營業務・発送手配業務等) 2,057千円

広域連携事業 決算額 143千円(145千円)

東京都港区と宗谷町村会との連携事業を実施しており、みなと区民まつりへの出店やPR

イベント等を実施することで、宗谷地域のブランド力向上を図っています。令和5年度は宗谷イチ押しプロモーションに参加し、中頓別町をPRしました。

・普通旅費	124千円
・需用費	2千円
・役務費	17千円

地上デジタル放送施設整備事業 **決算額 531千円(532千円)**

中頓別地区(中頓別・旭台・上駒)及び小頓別地区において、受信障害解消のため特定地上基幹放送局(無線共聴施設)を設置しています。電波法に基づく無線局免許の有効期間が令和5年10月末で満了したことに伴い更新を行いました。また、小頓別地区における設備点検に対して補助を行いました。

・無線共聴施設免許更新業務委託料	253千円
・無線共聴施設点検業務補助金	278千円

くらしとしごとの相談窓口事業 **決算額 5,814千円(5,834千円)**

移住者が必要な情報をワンストップで発信する専用WEBサイトの運営と、町内事業者の人手不足解消や移住者の就業先確保を目的とする中頓別町無料職業紹介所及び中頓別町特定地域づくり事業協同組合の運営に取り組んでいます。

・会計年度任用職員給料等	1,732千円
・中頓別町特定地域づくり事業協同組合運営助成金	4,050千円

コモンズ形成事業 **決算額 22,290千円(22,811千円)**

地方創生となる取り組みとして、令和4年度から3ヶ年の取り組みをスタートしました。住民相互の「共助の仕組み」を構築するため、1年目となる令和4年度は次のとおり各種取り組みを実践してきました。

1つ目の「関係人口を交えたコモンズ形成」では、北海道大学(関係人口)と連携して、町民を対象としたインタビューを実践いただき、まちづくりの考え方やライフストーリーを把握して、これらから中頓別らしい「共助」を考える基礎資料をまとめていただき、その内容を参考に住民相互の対話の場づくりを行いました。

2つ目の「“相談”機能の整備」では、移住された方のみならず町外在住の移住関心者も含めて「困りごと」を包括・横断的にその解決に向けて必要なサポートをし、居場所、仕事、住まいを提供することを目的として、中頓別町くらしとしごとの相談窓口の運用に努めています。

また、「くらし」に関連するテーマに焦点を当て、個人の困りごとを町や地域の課題と捉え、住民同士で話し合い、課題や将来の希望の共有を行い、実践へつなげることを目的として、なかとん「くらし」座談会を実施しました。

3つ目の「“マッチング”機能の整備」では、全世代型ファミリーサポート事業の仕組みづくりのため、住民が相互に支援し合う共助の仕組みづくりとして「地域生活サポート事業」を展開していくにあたって、「支え合いの仕組みづくり会議」を設置して、町民が暮らしと仕事の面で「支え」「支えられる」仕組みづくりを目指しています。

共助の仕組みを推進する大きな柱としているライドシェアは7年を経過しました。移動手段に困る町民へのサポートをするため、定期的に交通グループ会議を開催して、課題の共有や改

善等を図り推進しています。

しごとマッチング機能の促進のため、町内事業者の担い手を確保する①中頓別町無料職業紹介所の開設を起点に、令和4年4月から②中頓別町特定地域づくり事業協同組合の運用をスタートしました。①、②を含めた情報を発信する③中頓別町らしとしごとの相談窓口Webサイト運営に関する取り組みを進めています。

モトマツダ（旧松田商店）利活用の本格展開に向け、令和5年度もお試し利用を継続し、町民有志、利用希望者がフリマや交流の場づくりとなる各種イベントに取り組みられました。また、施設の経年劣化による汚破損等の不具合を解決するため、改修方法についての検討及び実施設計を行いました。

・会計年度任用職員報酬等	1, 719千円
・職員旅費	128千円
・需用費	377千円
モトマツダ電気代	144千円
" 上下水道代	70千円
" 灯油代	70千円
" 消耗品費（衛生用具ほか）	76千円
公用車燃料代	17千円
・インターネット機器通信費	439千円
ライドシェアタブレット通信費	393千円
モトマツダWi-Fi通信費	46千円
・ドライバー保険等	86千円
・コモンズ形成事業支援業務委託料	15, 510千円
関係人口を交えたコモンズ形成業務	4, 884千円
“相談”機能の整備業務	5, 863千円
“マッチング”機能の整備支援業務	4, 763千円
・旧松田商店改修工事実施設計業務委託料	3, 630千円
・高速料金	12千円
・備品購入費（モトマツダ掃除機、デスクほか）	389千円

地域公共交通事業 **決算額 15, 687千円（15, 704千円）**

令和5年9月末をもって路線バス天北宗谷岬線が廃止となることに伴い、令和5年8月からデマンドバス及び浜頓別高校への通学用スクールバスの実証運行、10月から本格運行を開始しました。

デマンドバスについては、浜頓別町と2町で地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、自家用有償旅客運送として運行することに対して、地域や関係機関との合意形成を図り、路線や時刻、料金等を協議しました。

浜頓別高校への通学用スクールバスについては、路線バス天北宗谷岬線が浜頓別高校への通学便を兼ねていたことから、新たな運行が必要となったものであり、浜頓別高校との協議のもと、運行する日時を毎月設定し、一般混乗を可能としています。

・ デマンドバスデザイン応募者謝礼	7 千円
・ 車両に係る消耗品費、修繕費、周知用チラシ印刷費	1, 138 千円
・ 車検、定期点検、自賠責保険料、自動車重量税	258 千円
・ デマンドバス、スクールバス運行等管理業務委託料	14, 053 千円
・ 備品購入（タイヤラックほか）	90 千円
・ 中頓別町・浜頓別町地域公共交通活性化協議会負担金、 交通空白地有償運送運転者講習受講料	141 千円

〈公平委員会費〉

（担当：総務課総務グループ）

公平委員会事務事業

決算額 6 千円（6 千円）

町職員の利益の保護と公正な人事権の保証を目的とする機関として、宗谷管内の10市町村と8一部事務組合で宗谷公平委員会を共同設置し、運営費を負担しています。

〈生活安全推進費〉

（担当：総務課住民グループ）

生活安全推進事業

決算額 3, 429 千円（3, 653 千円）

生活安全事業は、「町民の生活の安全を守る」事業であり、交通安全・防犯活動及び消費生活相談等、町民の日々の暮らしに密接した事業です。

交通事故防止に関しては、関係団体との連携強化のほか、町民の交通安全意識の高揚を図るため、街頭啓発や安全旗の設置、また、町内巡回パトロール等の活動を行っております。

交通安全対策を推進するための交通指導員は6名体制で街頭指導等を行っております。

また、防犯の観点から高齢者世帯や児童を不審者等から守る活動等が重要であるため、警察・各ボランティア団体等と連携し、見守りや啓発活動等に取り組むとともに、教育委員会が主催し、学校関係者等が参加する通学路安全推進会議の意向に沿って、防犯カメラの設置を取り進め、現在計8台で子どもたちの通学時の安全に配慮しています。

新入学児童へのランドセルカバーやメトロ帽の贈呈を継続しております。

地域生活安全協会の活動は役員会及び総会を開催し、高齢者住宅訪問や交通安全新聞の発行、交通事故慰霊祭の開催、こども安全パトロール隊やわんわんパトロール隊への支援を実施しました。

消費者安全活動に関しては、特殊詐欺啓発のための活動や相談受付業務を実施しております。

自治組織運営支援事業

決算額 1, 206 千円（1, 207 千円）

自治会の育成指導、相互の連絡調整を図り、住民福祉の増進並びに地域振興発展に寄与することを目的とする自治会連合会に対して補助金を交付しました。町民スポーツフェスティバルは事情により廃止することとなりましたが、町民パークゴルフ大会は実施しております。

役員段階での協議は実施しており、特に運営に支障はありませんでしたが、今後も住民の自主的な活動となるように支援を行っていきます。

〈防災対策費〉

(担当：総務課総務グループ)

防災対策事業

決算額 7,025千円(7,368千円)

町民の生命と財産を守るため防災会議を開催するとともに、防災訓練・防災備品、防災無線の整備等日頃から安全な地域社会を確保するために必要な経費を支出しました。防災訓練では、町民参加の防災訓練は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しましたが、職員訓練として災害対策本部運営訓練を机上で実施しています。また、例年実施されている小学校1日防災学校では、教育局主催の防災学校を支援し、同じく例年実施となります小学4年生防災見学会につきましても防災講話を交え、防災備品等の見学会を開催しました。備品購入では、避難生活で必要となる毛布やベッド、ペット用ゲージの購入、ハザードマップで明らかになった庁舎の水害対策における洪水対策水囊及び緊急排水エンジンポンプを購入しています。消耗品費では、アルファ米等の備蓄食料や紙おむつ等の衛生用品、災害時着用の被服を購入しています。

〈バス転換関連施設維持管理費〉

(担当：建設課建設グループ)

天北線バス関連施設維持補修事業

決算額 4,072千円(4,083千円)

バス路線の円滑な運行やバス利用の促進を図るため、バスターミナル等の維持管理に係る経費を支出しました。

〈情報推進費〉

(担当：総務課総務グループ)

中頓別町電子自治体推進事業

決算額 24,249千円(24,528千円)

職員端末に係るシンクライアントシステムの維持管理や機器更新、職員用端末、プリンター等に係る経費を支出しました。令和5年度につきましては、主に保守期間の切れるVMサーバー1台の更新、これに伴うソフトウェアの更新を実施しています。また、ユーザーの増加、保管データ量の増加により、現環境では運用が難しく、各種リソースにつきましても、旧サーバーより流用し増やしております。

令和3年度に策定いたしました、中頓別町DX推進計画につきましては、昨年より継続して若い世代への研修を実施し、DX推進に対する知識や企画立案の方法等について学んでおり、本プロジェクトにより提出された企画「会議録自動文字化」につきましては、令和5年12月の補正により具現化させていただきました。また、国から示されました基幹系17業務及び26手続きにおける標準化の取り組みにつきましては、主体的な課である総務課と保健福祉課により、具体的な協議をベンダーを交え検討しているところです。

〈新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方創生臨時交付金事業 決算額 65,581千円(66,291千円)

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を図ったプレミアム商品券やクーポン券の発行等の事業に要した経費です。

・中頓別町住民税非課税世帯等支援給付金事業	9,717千円
・新型コロナウイルス対策プレミアム商品券発行事業	10,283千円
・中頓別町クーポン券発行事業	3,265千円
・牛乳・乳製品購入券配布事業	1,770千円
・町内公共施設等なかとん牛乳無料配布事業	222千円
・学校給食費補助事業	3,196千円
・物価高騰対応住民税均等割非課税世帯支援給付金事業	20,978千円
・物価高騰対応住民税均等割のみ課税世帯支援給付金事業	4,235千円
・物価高騰対応住民税非課税等子育て世帯支援給付金事業	1,047千円
・社会福祉施設等物価高騰対策事業	3,920千円
・入浴施設燃料費高騰対策事業	1,530千円
・国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策事業	5,418千円

〈税務総務費〉

(担当：総務課住民グループ)

税務事務事業 決算額 9,114千円(9,556千円)

徴収の状況は下記のとおりであり、例年並みの徴収率を維持しています。過年度分に移行した諸税は公平・公正な賦課、徴収業務を進めるべく、翌年度に個別に納税相談を実施してまいります。

税目	現年度徴収率	過年度徴収率	全体徴収率	前年度比較
町民税	99.5%	35.4%	98.7%	0%
固定資産税	99.0%	3.0%	95.0%	△0.1%
軽自動車税	98.5%	84.9%	98.3%	△0.2%
国民健康保険税	98.2%	55.5%	96.2%	△0.6%

〈戸籍住民基本台帳費〉

(担当：総務課住民グループ)

戸籍事務事業 決算額 3,481千円(11,483千円)

※()のうち、7,821千円は、令和6年度への繰越明許費です。

戸籍法に基づき、戸籍・除籍・改製原戸籍の管理及び発行や住民に関する事務処理に要した経費です。宗谷5町村で戸籍システムサーバーを管理することで経費の節減と個人情報の安全確保に努めております。

住民事務事業 **決算額 11,020千円(14,017千円)**

※()のうち、2,987千円は、令和6年度への繰越明許費です。

住民基本台帳法等に基づき、町民の居住環境の公証、選挙人名簿の登録その他住民に関する登録、証明事務に関する事務処理の基礎となるもので、住民に関する記録を正確かつ統一的行うシステムの保守管理業務を委託しています。

社会保障・税番号制度が始まり、個人番号カード(マイナンバーカード)交付のため、システム利用及び情報連携に必要な機器整備事業を委託しています。住民の作成支援を行いながら普及に努めております。

〈選挙管理委員会費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

選挙管理委員会事業 **決算額 745千円(745千円)**

選挙管理委員会の運営にあたり、選挙管理委員報酬のほか、管理システムの運用経費を執行しました。

〈在外選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

在外選挙事業 **決算額 0千円(2千円)**

在外選挙人名簿登録事務における郵便料につきましては、対象となる事務はありませんでした。

〈知事道議会議員選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

知事道議会議員選挙事業 **決算額 1,577千円(1,768千円)**

令和5年4月9日執行の知事・道義会議員選挙に要する人件費、事務費、ポスター掲示板の作成設置経費を執行しました。

〈町長町議会議員選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

町長町議会議員選挙事業 **決算額 2,452千円(2,453千円)**

令和5年4月23日執行の中頓別町議会議員選挙に要する人件費、事務費、ポスター掲示板の作成設置経費を執行しました。

〈統計調査総務費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

統計調査業務事業 **決算額 137千円(138千円)**

・学校基本調査 **8千円**

文部科学省が毎年行う幼稚園から高校までの生徒数等の実態を把握する調査です。

5月1日を基準として、調査を行いました。

- ・ **経済センサス－調査区管理** **4千円**
経済センサス活動調査を円滑に行うための基礎調査内容の修正等の事務に要した経費です。

- ・ **住宅・土地統計調査** **122千円**
住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにするため、5年ごとに行われる調査です。

10月1日を基準として、調査を行いました。

- ・ **農林業センサス事前準備経費** **3千円**
農林業センサスは、農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源等、農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにするため、5年ごとに行われる調査です。令和5年度は、令和6年度に行われる本調査に向けて、調査対象の整理等の事前準備を行いました。

〈監査委員費〉

(担当：監査委員書記)

監査委員事務事業 **決算額 1,167千円(1,176千円)**

この経費は、監査委員2名の報酬や監査業務に伴う費用弁償等に充てました。

民生費

〈社会福祉総務費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

社会福祉協議会運営補助事業 **決算額 7,503千円(7,503千円)**

社会福祉協議会の運営に係る経費の一部を助成します。主に社会福祉協議会の職員2名の人件費です。

冬期生活支援事業 **決算額 300千円(300千円)**

冬期間の積雪による安全を確保するため、65歳以上の単身世帯又は高齢者世帯、障がい者世帯に対しベランダ・屋根等の除雪等の経費の一部を助成します。令和5年度は申請がありませんでした。

地域支え合い見守り活動推進事業 **決算額 396千円(396千円)**

社会福祉事業に要する要援護者システム運用のためのデータ更新に係る経費を支出しました。

権利擁護事業 **決算額 700千円(700千円)**

「なかとんべつサポートセンター」を社会福祉協議会に委託し、地域福祉の充実を図りました。

社会福祉総務事業 決算額 15,630千円(16,246千円)

各種委員会の報酬やその他社会福祉事業に要する経費を支出しました。

戦没者追悼平和祈念式開催事業 決算額 53千円(78千円)

戦争によって亡くなった中頓別町の戦没者に対し、追悼の意を表し恒久平和への誓いを新たにするため式典を実施しました。

民生委員協議会運営補助事業 決算額 1,563千円(1,760千円)

民生委員・児童委員で構成する中頓別町民生委員協議会に対し、その運営費の一部を補助しました。

協議会は、各民生委員の担当地区における生活状態の把握、高齢者等の安否確認、保護の指導、社会福祉事業施設や関係行政機関との連携等の任務の遂行と円滑な運営を図ることを目的としています。

地域自殺対策事業 決算額 1,650千円(1,663千円)

誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、専門家による相談事業及びこころの健康に係る教育事業として、講演会や啓発等を実施しました。

・こころの相談件数：7名、健康教育学習会、講演会等：9回

社会福祉法人資格養成助成事業 決算額 48千円(360千円)

社会福祉法人が実施する「社会福祉事業を行うための職員養成」に要する経費の一部を助成しました。

・厚生園職員：0名、長寿園職員：1名

地域生活サポート事業 決算額 128千円(362千円)

高齢者等が地域で安心して暮らし続けられる環境づくりや支え合いのため、中頓別町地域生活サポートセンターを設置し、介護又は家事等の援助を受けたい者で行いたい者の組織化を図り、会員相互による活動の促進のため利用された方への助成を行いました。

・依頼件数：52件、活動回数：102回

〈老人福祉費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

敬老会開催事業 決算額 1,031千円(1,040千円)

75歳以上の高齢者(378人)を対象に町民センターで敬老会を開催し、喜寿の記念品と敬老祝い品を贈呈しました。

高齢者事業団運営補助事業 決算額 500千円(500千円)

高齢者事業団の運営に係る高齢者事業団開拓員活動事業に対し助成しました。

高齢者乗合自動車無料乗車券交付事業 決算額 122千円(245千円)

町内の75歳以上の高齢者に対し、町内のバス路線区間に限り無料で乗車することができる乗車券を令和5年度は新たに4名に交付しています。

この事業は、令和5年9月まで宗谷バスに委託して実施しており、10月からはデマンドバスに転換しております。

高齢者等スポーツレクリエーション大会開催事業 決算額 0千円(64千円)

町内に居住する高齢者及び障がい者の福祉活動の一環として開催していましたが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

除雪サービス事業 決算額 1,350千円(1,350千円)

一人暮らしのお年寄りや、お年寄りだけの世帯で、積雪による外出の不安や冬期間の生活環境支援のために、除雪に係る労力を確保できないと認める世帯に対して、積雪時に玄関前等住宅周辺の除雪を行いました。

この事業は、社会福祉協議会に委託して実施しています。

中頓別町入浴料助成事業 決算額 1,035千円(1,061千円)

町内に住んでいる70歳以上のお年寄りや障がい者等の憩いの場の提供と心身の健康増進のため、ピンネシリ温泉と黄金湯の入浴券を112名に交付しました。利用者は延4,689名でした。

老人クラブ連合会運営補助事業 決算額 319千円(319千円)

老人クラブ連合会の運営に係る経費の一部を助成しました。

養護老人ホーム入所事業 決算額 61,202千円(65,520千円)

町内外の老人ホームに入所している方の入所費用を支出しています。入所者本人と扶養義務者は所得に応じた費用負担があります。

8月1日現在の入所者数は、町内の施設(長寿園)に22名、町外の施設に2名入所しています。

老人福祉事業 決算額 126,211千円(131,382千円)

後期高齢者医療広域連合療養給付費市町村負担金等を支出しました。

療養給付費市町村負担金については、被保険者数及び給付費見込みを市町村ごとに算出しています。

また、南宗谷福祉会(養護、特別養護老人ホーム長寿園)の財政状況の悪化に伴い、今後の経営に支障を来す恐れがあるため、運営費の一部を助成しました。

後期高齢者見舞金助成事業 決算額 3,602千円(4,264千円)

後期高齢者に対し医療に要する経費の一部を助成することにより、医療費の負担を軽減し、地域で安心して生活できるように後期高齢者の福祉の増進を図ります。

見舞金の額は医療機関等に支払った医療費等のうち月額2千円以内を助成するものです。

令和5年度は対象者数379名、申請件数は延1,982件でした。

病院患者送迎サービス事業 決算額 1,443千円(1,556千円)

高齢者や通院が困難な方を市街地を除く町内全地域を対象に週3回行っている病院患者送迎サービスの諸経費を支出しました。

令和5年度の利用者は103名でした。

居宅介護支援事業所運営費助成事業 決算額 1,500千円(1,918千円)

令和2年度より社会福祉法人の居宅介護支援事業所を廃止し、新たに国保病院内に居宅介護支援事業所を開設されたことに伴い運営費の一部を助成しました。

〈国民年金費〉

(担当：総務課住民グループ)

国民年金事務事業

決算額 34千円(35千円)

法令に基づき、市町村が行わなければならない照会業務等に要した経費です。

〈障害者福祉費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

障害者医療費給付事業

決算額 550千円(1,031千円)

身体に障がいがある方の身体的負担(人工透析や人工関節等)を軽減したりすることで、日常生活が容易になるように行われる医学的処置、薬剤、治療、材料等の給付を行う医療費の一部を助成しました。令和5年度は218件に助成しました。

障害者総合支援給付事業

決算額 104,756千円(106,938千円)

障害者自立支援法の施行に伴い、障がい者の日常活動、居住系サービス、児童デイサービスといった障がい福祉サービス費の負担です。

現在、サービスを利用している方々は生活介護14名、施設入所11名、共同生活援助(グループホーム)14名、就労継続支援(B型)6名となっています。

障害者福祉事業

決算額 0千円(9千円)

障がい者福祉事業に要する事務費等諸経費の支出を行うものです。令和5年度は実績がありませんでした。

地域生活支援事業

決算額 6,398千円(9,781千円)

障がい者(児)が、安心して暮らすことのできる地域社会の実現、自立した日常生活又は社会生活を営むことができることを目的として日常生活用具6件の給付、障がい者等を雇用している3事業者(4事業場：対象就労者数6人)に助成金を交付しました。

〈重度心身障害者特別対策費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

重度心身障害者医療給付事業

決算額 5,075千円(6,804千円)

心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫若しくは肝臓の機能障がいである1級から3級の障がい者に該当している方等の医療費の一部を助成しました。

〈地域福祉対策事業費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

緊急通報システム事業

決算額 587千円(643千円)

ひとり暮らしのお年寄りや身体の不自由な方等の増え続ける独居世帯者の安心を確保するため、緊急通報システム端末の貸与を行いました。

令和5年度末現在、安全センター9戸、健康づくり財団5戸の設置となっています。

福祉ハイヤー助成事業

決算額 2,731千円(3,467千円)

重度肢体不自由者等、70歳以上の高齢者(一部制限があります)の通院等が容易になる

ようにタクシーチケット（1枚520円）を支給します。交付枚数は重度肢体不自由者等及び高齢者には年間48枚、自家用車を所有している方の配偶者（70歳以上）は年間24枚交付しました。また、年度途中での交付該当者は年間交付枚数を月割で交付しています。

令和5年度は167名の申請に対し7,296枚を交付し、利用枚数は4,633枚（利用率は63.5%）でした。

〈介護福祉センター費〉

（担当：保健福祉課福祉グループ）

介護福祉センター管理事業 決算額 5,581千円（6,000千円）

介護福祉センター及び保健センターの光熱水費等、施設の維持管理に係る経費です。

〈次世代育成支援対策費〉

（担当：認定こども園）

次世代育成支援対策事業 決算額 476千円（517千円）

未来を担う子ども達のため、地域に開かれた認定こども園として積極的に老人福祉施設やお年寄りとの世代間交流を取り入れることで、豊かな人間性を身につけることを目的として世代間交流を行ってきました。また、町内の子ども達の健やかな成長ぶりを見守り、小学校・中学校・高校（町内在住の高校生）との交流をもつことによって、社会性や協調性を養うことを目的として異年齢児交流会を行いました。

事業名	交流区分	内 容	参加人数
保育所地域活動事業（世代間交流） （異年齢児交流）	世/異	こども園花壇づくり	25名
	世/異	運動会	130名
	世/異	パワーチャージパレード	75名
	世	地域参観日	61名
	世/異	人形劇観劇	78名
	異	夏休みボランティア体験	10名
	異	健康支援体操	77名
	異	放課後交流	2名

〈介護予防費〉

（担当：保健福祉課福祉グループ）

介護予防事業 決算額 598千円（600千円）

介護保険法に基づき、介護予防支援サービス（予防ケアプランの作成、サービス事業者との連絡調整等）を行うための経費を支出しました。

〈住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

決算額 516千円(516千円)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が速やかに生活・暮らしの支援を受けられるように住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円の現金をプッシュ型で給付したものに對する交付金について、交付額確定による返還金を支出しました。

- ・令和4年度子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金返還金

〈子ども医療費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

子ども医療費助成事業

決算額 4,390千円(4,401千円)

満18歳までの子ども達に対し医療費の無料化を図り、疾病の早期診断と早期治療を促進し、子ども達の保健の向上と福祉の増進、子育て世代家庭の経済的負担の軽減を図っています。

〈児童措置費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

児童手当支給事業

決算額 13,022千円(14,749千円)

児童を養育している方に手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として以下の基本額(月額)を年3回支給しました。

- | | |
|-------------------|------|
| ・3歳未満 | 15千円 |
| ・3歳から小学校終了前の第2子まで | 10千円 |
| ・3歳から小学校終了前の第3子以降 | 15千円 |
| ・中学校終了前 | 10千円 |
| ・特例給付 | 5千円 |

障がい児生活支援事業

決算額 753千円(753千円)

南宗谷子ども通園センター負担金を支出しました。

〈ひとり親家庭等児童特別対策費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

ひとり親家庭等医療給付事業

決算額 116千円(250千円)

ひとり親家庭等の健康の保持を図るため、医療費の一部を助成しました。

に関する連絡調整を実施しました。

妊産婦安心出産支援事業 **決算額 377千円(773千円)**

安心して子育てができる環境を整備し、妊産婦の健康診査や出産に係る交通費等の助成を
しました。

子育て世代包括支援センター事業 **決算額 2,427千円(3,527千円)**

愛称を「なかとんネウボラ」とし、助産師・保健師による地域の特性に応じた妊産期から
子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行いました。助産師を正職員採用し、のびのび
ルームにのびのび支援員を配置する等、子育ての支援体制の強化を進めました。また、子ど
もの誕生を町ぐるみで祝い、町が手作りの椅子をプレゼントするという「君の椅子」プロジ
ェクトの講演会を開催、参加者からの要望が多かったこともあり、プロジェクトに参加する
運びとなりました。

○「君の椅子」プロジェクト関連費用

- ・君の椅子広域連携実行委員会負担金 250千円
- ・君の椅子贈呈用(10脚) 400千円

○備品購入費(のびのびルームほか) 485千円

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 **決算額 0千円(510千円)**

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、食料品価格等の物価高騰に直面する低
所得の子育て世帯(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分)に対し、特別給付金を支給
し生活の支援を行うためのものですが、令和5年度は実績がありませんでした。

〈こどもセンター費〉

(担当:保健福祉課福祉グループ)

こどもセンター事業 **決算額 71千円(962千円)**

学校の放課後や夏休み等の長期休暇中、障がいのあるなしに関わらず児童の居場所づくり
を行い、健全な遊びを通して子どもの心身の健康を増進し、子どもたちの能力の発達を援助
してきました。

衛生費

〈予防費〉

(担当:保健福祉課保健グループ)

感染症予防事業 **決算額 466千円(993千円)**

北海道エキノコックス症対策実施要領に基づくエキノコックス検診を行い、早期発見・早
期治療のための諸対策を講じました。従来行ってきた65歳以上の結核検診は肺がん検診と
して実施しました。エキノコックス検診は小学3年生以上の方を対象に実施し、小学3年生
及び中学2年生に個別案内を行い23名が受診しました。

保健予防事業 **決算額 12,940千円(13,626千円)**

保健予防全体に係わる事業(会議・研修・車両維持・システムの更新等)を円滑に推進しました。

○システム保守委託料

・健康管理システム保守委託 1,946千円

○健康増進計画策定委託料

・令和5年度健康なかとんべつ21策定支援業務委託 7,667千円

予防接種事業 **決算額 6,384千円(7,250千円)**

予防接種法に基づき、定期の予防接種(BCG、不活化ポリオ、二種混合、四種混合、麻しん風しん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、65歳以上の方のインフルエンザ、65歳以上の肺炎球菌(定期対象者))、日本脳炎、B型肝炎を医療機関に委託し、実施しました。ヒトパピローマウイルス感染症は国からの勧告により積極的勧奨を控えています。また、任意の予防接種(65歳未満の方のインフルエンザ、65歳以上の方の肺炎球菌(定期対象以外))を受ける方に費用の一部を助成しました。成人男性を対象とした風疹対策事業を行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

決算額 5,584千円(6,353千円)

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンについては、国から予防接種法に基づく「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」が示されています。希望者全員がワクチンを接種できる体制を整備し、接種を推進しました。また、コールセンターの設置を継続し、個別の相談にも対応しました。

〈母子衛生費〉

(担当:保健福祉課保健グループ)

母子健康相談健康教育事業 **決算額 509千円(564千円)**

妊婦・乳幼児の健康相談、栄養相談、健康教育事業を実施し、安心して子どもを産み育てることができるように支援しました。

母子健診事業 **決算額 3,292千円(3,772千円)**

母性と乳幼児の健康の保持増進を図ることを目的として、妊産婦の健康診査及び交通費等に対する助成、乳児健診、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診を行いました。さらに精密検査が必要な方には費用の一部を助成しました。

母子歯科保健事業 **決算額 380千円(517千円)**

乳幼児等の虫歯予防のため、歯科医師による健診、歯科衛生士によるフッ素塗布・歯科指導、保健師・栄養士による相談等を3回実施し、延105名の利用がありました。

不妊治療費助成事業 **決算額 0千円(358千円)**

不妊治療により妊娠を希望されるご夫婦の経済的負担を軽減することを目的として、治療に係る医療費及び交通費について助成する制度ですが、令和5年度は実績がありませんでした。

出産・子育て応援事業 **決算額 1,250千円(1,600千円)**

妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図ることを目的として、出産・子育て応援給付金を支給しました。

〈環境衛生費〉

(担当：総務課住民グループ)

環境衛生事業 **決算額 134,186千円(140,996千円)**

廃棄物の処理量は年々減少傾向にありますが、これは人口減少に由来するものと考えられます。分別に係る苦情もありますが、都度確認を行い、指導や旬報による周知を行ってきております。ごみの減量化に向けたなかとんリユースは、希望者がなく実施実績はありませんが、制度として継続していく必要があると考え、また、小型家電及び古着のリサイクル品の受入れも継続して実施しております。

鳥獣捕獲に係り鳥類の処理件数は12件、その他要望・苦情処理が17件、ハチ駆除は11件でした。

狂犬病予防注射は69頭(町外で注射したものを加えれば76頭)実施しております。

また、不法投棄は2件、野外焼却は1件であり、注意・指導を行っております。

公衆浴場補助金は例年のどおりに継続しており、合併浄化槽の設置はありませんでした。

環境保全活動推進事業 **決算額 4,282千円(4,309千円)**

※うち、2,882千円は、令和4年度からの繰越明許費です。

クリーン作戦に関しては21団体、延べ330名のご協力のもと行うことができました。特定外来生物であるオオハンゴンソウの防除はアクションプランを策定し、除草剤を使用した試験的防除を実施しています。

淡水魚の生息調査に関してはガイドサービスTEKUTEKUに委託して実施しました。

令和5年度は掬水川における生息魚の遡上状況に関する現地視察をもとに学習会を開催しました。頓別川水系の現状を知ってもらうための学習会を前年度に引き続き実施することができました。

地球温暖化対策としては電気自動車(EV車)への充電設備を設置しており、役場庁舎太陽光発電システムと連動した運用の検証を開始しております。

〈墓地火葬場費〉

(担当：総務課住民グループ)

墓地火葬場維持管理事業 **決算額 2,882千円(3,006千円)**

町内に設置されている5ヶ所の墓地と火葬場1ヶ所の維持管理に要した経費であります。

〈病院費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ・保健福祉課保健グループ)

国民健康保険病院事業運営補助事業

決算額 322,672千円(344,495千円)

中頓別町国民健康保険病院の運営に対する補助金を支出しました。

第2次救急医療事業

決算額 1,274千円(1,274千円)

中心都市宣言(定住自立圏構想推進要綱第4に規定)を行った「名寄市及び士別市」との相互に役割を分担し連携しながら取り組む、上川北部地域広域第2次救急医療事業に係る経費です。

〈診療所費〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

歯科診療所委託事業

決算額 10,200千円(10,688千円)

歯科診療所の施設整備を行い、充実した地域の歯科保健、歯科診療ができるように支援しました。

〈地域保健対策費〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

地区組織活動事業

決算額 372千円(398千円)

各地区から選ばれた保健推進員とともに健康づくりに取り組みました。

1年間の保健事業を掲載した健康カレンダーを全戸配布しました。

〈健康増進費〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

がん検診事業

決算額 1,858千円(2,491千円)

各がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん)を実施し、がん患者を早期発見・早期治療に結びつくように援助しました。

乳がん検診・子宮頸がん検診については特定の年齢の方に検診の個別勧奨を行うとともに、検診を無料で受けられるクーポン券を発行しました。

各種がん検診の受診者数は胃がん検診100名、肺がん検診140名、大腸がん検診135名、子宮頸がん検診61名、乳がん検診82名でした。

健康教育事業

決算額 1,732千円(2,090千円)

各地区等での健康相談や健康教室等を通して、より健康的な生活が継続できるように支援を行いました。健康増進法に基づく40～64歳の健康教育は63回(316名)の参加がありました。健康相談は28回(66名)の参加がありました。その他、保健師、栄養士は随時家庭訪問を行いました。

健康診査事業

決算額 565千円(695千円)

健康増進法に基づく健康増進事業(骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診)のほか、同法施行

規則に定める健康診査及び保健指導（医療保険者が行う特定健診等の対象以外の方）を実施しました。個別の健診結果をもとに生活習慣病予防や改善に向けた支援を行いました。

歯科保健事業 **決算額 665千円（753千円）**

80歳で20本の歯を保つことでさらに豊かな生活ができるように生涯を通した歯の健康づくりを推進します。特定健診等とあわせて8020さわやか健診を行いました。幼児・児童・生徒にブラッシング指導を行い、虫歯予防ができるように支援しました。

健康増進事務事業 **決算額 225千円（362千円）**

健康増進法に基づく事業（会議・研修・車両維持等）を円滑に推進しました。

後期高齢保健事業 **決算額 971千円（1,348千円）**

後期高齢者医療保険に加入されている方の糖尿病等生活習慣病の重症化予防と心身の機能の低下予防のため、健康診査・保健指導・健康教育等を行いました。医療受診者訪問事業や歯科健康診査等の新たな取り組みも継続して行っています。

労働費

〈労働諸費〉

（担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ）

稚内雇用対策協議会関係事業 **決算額 15千円（15千円）**

雇用対策に係る諸会議への参加や通年雇用化に向けた助成事業等を推進する稚内地方通年雇用促進協議会に加入し、雇用対策の円滑な推進を図りました。

- ・ 稚内地方通年雇用促進協議会負担金 15千円

農林水産業費

〈農業委員会費〉

（担当：農業委員会事務局）

農業委員会活動促進事業 **決算額 2,112千円（2,154千円）**

農業委員会等に関する法律に規定する事項に係る法令事務及び中頓別町農業委員会に対する事務委任に関する規則に基づく事務（農地の所有権移転・賃貸借や転用等）の執行を行いました。また、広報活動やホームページを通じて農業委員会の情報提供を行うとともに、農業者の意見を聞きながら事務を進めました。

■ 委員に関する経費

- 委員の報酬 1,664千円
- 総会や研修会等の費用弁償 303千円

■ 事務的経費

- 書籍購入費、車両燃料代 27千円

- タブレット端末に要する経費 18千円
- 北海道農業会議への負担金 100千円

【参考】

- ・総会開催回数 6回
- ・農地等流動化実績 所有権移転 3件(87筆)
- 賃貸借 5件(34筆)
- 合計 116.74ha

機構集積支援事業 決算額 195千円(226千円)

農地パトロール時における農地の利用状況調査や耕作放棄地全体調査を通じて遊休農地や耕作放棄地の防止・解消を図りました。

- 事務的経費：調査図面制作消耗品等 195千円

農業担い手対策事業 決算額 30千円(70千円)

農業経営の継続を促進するため、独身の農業後継者や経営者に対してパートナーとの出会いの場の情報提供や交流会の企画・開催は、新型コロナウイルス感染症対策により実施することができませんでした。新規就農者向けのフェアは開催されたことから参加し担い手の取り組みを実施しました。

- 事務的経費：農村パートナー対策負担金 30千円

〈農業振興費〉

(担当：産業課産業グループ)

中頓別町農業体験交流施設(食彩工房「もうもう」、体験農園「オガル」)

管理運営事業 決算額 7,305千円(7,394千円)

中頓別町農業体験交流施設の施設管理運営費です。

- 中頓別町農業体験交流施設指定管理料 5,845千円
- 中頓別町農業体験交流施設修繕料 13千円
- 中頓別町農業体験交流施設合併浄化槽点検口修繕工事 145千円
- 中頓別町農業体験交流施設屋上修繕工事 1,243千円
- 中頓別町農業体験交流施設消火器更新 59千円

認定農業者支援事業 決算額 10千円(10千円)

本町農業の中核的な担い手として経営規模の拡大や集約化、複合化等によって、魅力ある経営実践を目指す意欲ある農業者を「認定農業者」として町長が認定し、設備投資等の資金借り入れに対する利子補給等の支援を行いました。

- 農業経営基盤強化資金利子助成事業

法律に基づいて、積極的な経営を展開する認定農業者が借り入れた「農業経営基盤強化資金(通称：L資金)」に対する利子の助成を行いました。

農業振興事業 決算額 8,506千円(8,815千円)

農業行政の推進のため、農用地区域の管理、農業振興地域整備計画の策定・管理、農業担い手対策の推進、農業関係制度資金等に係る事業を実施しました。

中山間地域等直接支払交付金交付事業

決算額 40,229千円(40,300千円)

農業者が現在耕作している農地の面積に応じて、農業者が主体となり組織された中山間地域等直接支払制度推進協議会に対して国費・道費・町費より交付金を交付しました。

中頓別町農業担い手育成事業

決算額 630千円(747千円)

本町で新たに就農された経営者に対する支援等を行いました。

多面的機能支払事業

決算額 3,689千円(3,690千円)

農業者が現在耕作している草地・畑の面積に応じて、農業者が主体となり組織された推進協議会に対して国費・道費・町費より交付金が交付され、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に支援を行い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理を図りました。

6次産業化推進事業

決算額 15,593千円(15,916千円)

平成28年度から製造を開始している『なかとん牛乳』の提供農場に対する協力金や平成29年度より試験栽培を開始した醸造用ぶどうの苗木や栽培資材等の購入、栽培管理に係る業務委託等を行い、本町の新たな特産品の開発に向けた取り組みを行いました。

酪農振興支援事業

決算額 1,000千円(1,000千円)

町内の酪農家戸数は年々減少を続けており、地域の生産力も減少している状況にあることから、乳牛の飼養施設等の整備・改修等に対して助成を行い、個々の生産力の向上を図ることを目的とした事業で、令和5年度では経営継承祝い金として1件の助成を行いました。

ミルクプラント運営事業

決算額 8,860千円(10,444千円)

平成28年度より製造を開始した『なかとん牛乳』の製造等に係る経費で、作業員の人件費や生乳等の原材料費等の経費を支出しています。なお、『なかとん牛乳』は町内商店での販売を主体に、札幌市での販売のほか、学校給食への提供やふるさと納税の返礼品として活用しています。

〈畜産業費〉

(担当：産業課産業グループ)

各種制度資金利子補給事業

決算額 302千円(304千円)

酪農経営において累増した負債により、経営悪化が余儀なくされている農家に対して積極的に農業経営の改善を図ろうとする者が必要とする資金の借り入れに対し生ずる利子の一部を負担軽減措置として利子補給を行いました。

循環農業支援センター管理事業

決算額 4,152千円(4,202千円)

当該施設を利用組合に無償貸付していますが、施設管理上最低限必要な経費(設備機械の維持管理費用や作業車両の定期点検費等)及び施設・設備機械の修繕費を負担しました。

- ・ 作業車両修繕料 769千円
- ・ 械設備等定期点検費 2,795千円

地域交流事業

決算額 200千円(200千円)

農業者と地域の消費者との交流を図り、酪農畜産業への理解を深めることを目的として開

催された『中頓別町酪農祭』に対して開催経費の助成を行いました。

畜産振興事業 **決算額 5,215千円(5,301千円)**

畜産行政の振興を図るため、畜産関係計画の策定及び管理、家畜衛生対策、家畜糞尿等畜産環境対策に要する業務を執り行いました。

中頓別町営牧場運営事業 **決算額 19,431千円(19,500千円)**

乳用牛の育成部門における飼養労働力の軽減と適期受胎による生産性の向上を図るため適正な運営を行いました。

○町営(弥生・神崎)牧場運営業務委託事業

- ・利用料 1頭1日あたり200円
- ・受託期間 5月下旬から10月中旬
- ・管理運営業務委託料 9,168千円
- ・水道給水管移設調査設計委託料 9,119千円
- ・神崎牧場漏水修理工事 1,144千円

中頓別町乳牛検定組合運営事業 **決算額 450千円(450千円)**

乳牛の資質向上と経営の合理化を推進するため乳牛群の能力検定を実施し、生産性の向上等酪農経営の体質強化を図ることを目的として活動している団体の運営費の一部を補助しました。

中頓別町酪農ヘルパー利用組合運営事業

決算額 5,000千円(5,000千円)

酪農家の家族の休養・研修・旅行等での完全休日の取得の推進と経営者及び家族の疾病時の緊急対策としてのヘルパー制度の活用等により、経営の安定と生活の向上に資するための事業に対し組合運営費の一部を補助しました。

乳牛共進会関連事業 **決算額 150千円(150千円)**

乳牛改良の経過や今後の方向性について比較検討を行うために開催される乳牛共進会ですが、令和5年度は地域から選抜された乳用牛が道北共進会へ出場し、その中で上位入賞を果たした町内の2頭の乳用牛が全道共進会へと出場したことから、出場に係る経費の一部を助成しました。

草地整備型公共牧場整備事業

決算額 115,940千円(115,945千円)

飼料基盤の整備による酪農経営の安定化の推進と併せて、公共牧場の機能強化として哺育育成預託施設の整備を進めました。

令和5年度実施状況

- ・事業実施内容 草地整備改良72.8ha、預託育成施設(育成舎)、堆肥舎

〈有害鳥獣対策費〉

(担当:産業課産業グループ)

有害鳥獣対策事業 **決算額 21,106千円(22,015千円)**

傷病等野生鳥獣の保護収容等に係る取扱い指針に基づき、野外で負傷・疾病した野生鳥獣

の保護・収容及びへい死体の処理を行うほか、野生鳥獣による農林業・生活環境被害の緩和及び防止のため、関連機関と協力して駆除等を実施しました。エゾシカについては792頭を駆除したほか、近年出没が増加傾向にあり、全道的にも人畜への被害が懸念されているヒグマについては21頭を捕獲し、主に有害鳥獣等処理施設において減容化处理しました。

また、狩猟者の高齢化や減少が危惧されていることから、若手狩猟者の育成支援を行ったほか、ヒグマ捕獲に係る技術の継承と人里への出没の抑制を図るため、北海道が進めているヒグマの春季管理捕獲事業を実施しました。

・有害鳥獣報償費（エゾシカ792頭、熊21頭）	10,151千円
・有害鳥獣捕獲業務等委託料	534千円
・有害鳥獣回収処理業務委託料	2,100千円
・有害鳥獣等処理施設管理委託料	7,881千円
・春期管理捕獲支援事業委託料	231千円
・その他（消耗品、燃料費、旅費等）	209千円

〈農業者年金費〉

（担当：農業委員会事務局）

農業者年金委託事務事業

決算額 30千円（48千円）

農業者の老後生活の安定を図るため、農業者年金基金からの委託事務として農業者年金への加入促進、受給者への支給手続き等の業務を実施しました。

■事務的経費：郵便料等 30千円

【参考】令和4年度末現在

- ・受給権者数 96人、待機者数 16人
- ・新規加入者数 0人

〈林業振興費〉

（担当：産業課産業グループ）

森林管理事業

決算額 8,229千円（8,321千円）

町有林の森林保険料等の管理経費及び民有林の伐採届、森林火災予防の対策費等に要する経費の支出、また、その他に旧鉄道林において立木の枯損や腐朽等が見受けられた弥生・松音知地区の皆伐工事を行いました。

○皆伐工事 弥生・松音知地区 事業費 5,467千円 事業量 2.98ha

森林環境保全直接支援事業

決算額 9,566千円（9,566千円）

森林の有する多面的な機能の持続的な発揮を図ることを目的として、町有林の育成のために各種事業（下刈り、間伐、造林）を実施しました。

○下刈事業 弥生・上駒・神崎地区 事業量 36.62ha

- ・事業費 3,828千円（補助金2,603千円）

○間伐事業 豊平地区 事業量 10.45ha

- ・事業費 3,707千円（補助金2,520千円）

○造林事業 弥生地区 事業量 2,20ha

・事業費 2,031千円(補助金1,380千円)

<用語の解説>

下刈: 植栽木周辺の、雑草(笹・草等)の除去を行う。(標準: 植栽後9年間)

間伐: 適正な密度で森林を管理するため、利用できる大きさに達した立木を間引くための伐採を行う。(標準: 林齢30年生以降 間伐実施樹種: トドマツ)

造林: 無立木地(原野)の解消を図るため植栽を行う。

森林保護事業 決算額 239千円(239千円)

町有林の保護及び育成を目的として、幼齢林の野ねずみによる被害の未然防止のため植栽後9年間の林小班への野ねずみ駆除剤(リンカS1)の空中散布を実施しました。

中頓別町民有林森林整備振興事業 決算額 1,819千円(2,509千円)

町内における民有林森林整備事業の推進を円滑に進めるために要する経費の一部を助成し、伐採跡地等の荒廃を防ぎ、森林の健全な育成を行うことにより森林の公益的機能の向上及び林業の振興が図られました。

・造林A=30.23ha、下刈A=107.14ha

豊かな森づくり推進事業 決算額 9,293千円(10,277千円)

本町内に所有する民有林について、森林としての機能の活性化を図るとともに、森林資源の充実、森林の有する公益的機能の高度発揮を目的として、造林の標準経費(実行経費)に対して町が100分の26を補助しました。

森林整備担い手対策推進事業 決算額 43千円(44千円)

森林労働者の就労の長期化、安定化を促進し、林業労働力の確保に資するため、森林作業員、事業主、町及び道が一定の掛け金を負担し、就業日数が140日以上ある森林作業員に奨励金を支給するものです。令和5年度は2名分を負担しました。

森林整備・林業振興事業 決算額 26,721千円(26,830千円)

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林環境譲与税を活用し、間伐・除伐や人材育成・担い手の確保対策、木材利用の促進や普及啓発等、森林整備及びその促進に関する施策を推進しました。

○森林整備促進対策 43千円

北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への活動支援及び人材育成における研修への参加費用として活用しました。なお、既存の林務関係事業では対応が困難な森林における森林整備を進めるため、森林所有者に対して要望・聞き取りなどにより事業を実施する予定でしたが、要望等がなく事業の実施に至りませんでした。

○森林経営管理推進対策 0千円

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、経営管理が行われてない私有林人工林の森林所有者に対し森林管理に対する意向確認を行い、所有者による経営管理への支援や市町村への経営管理の委託希望の森林について経営管理権集積計画の設定等を目的としており、令和5年度については対象者の調査及び資料の整理等のみ実施したことから、予算執行に至りませんでした。

○林業・木材産業成長産業化促進対策

26,619千円

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、これらの資源を循環利用し林業の成長産業化を促進するため、公共施設の木造化・木質化などを通じて町民等に対し町産木材利用の意義の定着を図りました。また、町民の散歩等における休憩場所として利用してもらうため、ベンチを製作しました。

・公共施設の木造化・木質化（役場町民ホール）	12,889千円
・木製ベンチ製作	2,740千円
・広葉樹毎木調査	490千円
・高性能林業機械購入補助	10,500千円

○木育・木づかい推進対策

59千円

森林整備を町全体で支えていく機運の醸成を目的として、木を身近に感じてもらうためのきっかけとするため、町民等を対象とした木育・木づかい運動として、天板交換プロジェクト、木のおもちゃまつり、積み木教室を実施しました。

・中頓別町天板交換プロジェクト	29千円
・ぬくもりのハンドメイド積み木教室	0千円
・木のおもちゃまつり	30千円

〈林道費〉

（担当：産業課産業グループ）

林道管理事業

決算額 3,081千円（3,112千円）

中頓別町で管理している林道施設の維持補修及び管理業務を行いました。

道営林道事業

決算額 22,498千円（22,500千円）

森林の生産性の悪化により林業生産活動が停滞しており、計画的な森林整備や作業の機械化の効率化が求められています。森林管理道整備により木材の運搬の効率の向上や作業道と適切な組み合わせにより森林整備の促進と森林経営の安定化を促進しました。

○道営森林管理道松磨線開設事業

（事業期間 平成24年度～令和6年度）

・事業費 22,499千円

（国負担分 44,996千円、道負担分 22,499千円、町負担分 22,499千円）

・事業内容 開設工事 延長336m、幅4.0m

・施工場所 松音知橋から南に250mを起点として山林側へ約600mの区間。

林業専用道天北線開設事業

決算額 16,022千円（16,022千円）

森林所有者の高齢化や町外の所有者が年々多くなり、森林整備の手入れが行き渡らず山林の衰退が見受けられているところです。その中で、立地条件の悪い山林について林業専用道の整備により計画的な施業が可能となることから、森林整備の推進や所有者の施業意欲の向上が図られました。併せて、森林整備事業者等への安定的な雇用確保にも繋がりました。

○林業専用道天北線開設事業

（事業期間 平成28年度～令和5年度）

- ・事業費 16,022千円
(国負担分 8,011千円、道負担分 160千円、町負担分 7,851千円)
- ・事業内容 開設工事 延長850m、幅3.5m
- ・施行場所 小頓別地区の北電変電所施設付近から音威子府方向の山林内の区間。

小規模林道整備事業 決算額 609千円(610千円)

大雨により盛土法面が崩壊したことから、森林整備の通行に支障を来たしていたことから道路の復旧する予定でしたが、降雪の影響により一部の施工となり、令和6年度に完成することとなりました。

菊水線外2林道点検診断保全整備事業

決算額 2,398千円(2,398千円)

林道における橋梁の施設補修や更新、機能強化など必要な対策を適切に実施するため定期点検を行いました。

○菊水線外2林道点検診断保全整備事業

(事業期間 令和5年度)

- ・事業費 2,398千円(補助金1,222千円)
- ・事業内容 点検・診断調査(林道菊水線3橋、長屋ノ沢線1橋、松麿線1橋)

林業専用道上頓別線開設事業 決算額 24,990千円(24,990千円)

本地区は排水路や草地等に囲まれ、森林整備を行うには立地条件として悪く、手入れが行き渡らず山林の衰退が見受けられている。また、森林所有者の高齢化等により町への寄付山林があり、無立木地が目立ち造林が必要となっています。

林業専用道の整備により計画的な施業が可能となることから、森林整備の推進や所有者の施業意欲の向上が図られ、地域材の利用の拡大に繋がり、併せて森林整備事業者等への安定的な雇用確保にも繋げるため、事業計画の策定及び測量設計調査を実施しました。

○林業専用道上頓別線開設事業

(事業期間 令和5年度～令和12年度予定)

- ・事業費 24,990千円
(国負担分12,495千円、道負担分250千円、町負担分12,245千円)
- ・事業内容 全体計画業務 L=3,450m、測量設計 L=700m
- ・施行場所 上頓別地区の町道に架かる平野橋から約1.5km南西方向を起点とした山林内の調査。

幹線林道弥生線改良事業 決算額 6,105千円(6,105千円)

鍾乳洞周辺において、平成14年度から平成18年度の5ヶ年で散策路や木道等の整備を行いました。その後、施設の経年劣化に伴い散策路や木製階段、木柵等の損傷がひどく、観光客等への安全性を確保することが困難な状況のため、改修する必要があり測量設計の調査を実施しました。

○幹線林道弥生線改良事業

(事業期間 令和5年度～令和8年度予定)

- ・事業費 6,105千円

(国負担分 3,053 千円、道負担分 60 千円、町負担分 2,992 千円)

- ・事業内容 測量設計 L=400m
- ・施行場所 中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園

商工費

〈商工総務費〉

(担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ)

商工業振興対策推進事業 決算額 4,427千円(10,024千円)

商工業の振興と地域経済基盤の安定を図るための取り組みに要する経費です

平成28年度から商工業者の事業拡大や設備の整備改修、後継者への事業継承を円滑に進めることを目的として商工業振興支援補助金制度(令和8年3月まで)による支援を行っています。

- ・商工業振興支援補助 4,412千円
- 施設設備改修等7件

中頓別町商工会補助事業 決算額 6,481千円(6,976千円)

商工業の振興と地域経済基盤の安定を図ることを目的として、その指導的役割を担う中頓別町商工会に対して経営改善普及事業に係る経費の一部を助成しました。

中頓別町中小企業振興資金融資事業

決算額 20,051千円(20,060千円)

(融資枠 60,000千円)

町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関に運用資金を預け入れ、中小企業者に対し有利な融資を行っています。融資額は一企業に対し、運転資金、設備資金は7,000千円以内、木材工業関係は30,000千円以内で、設備資金の特例として金融機関からの貸付利息の一部を補助します。

〈観光費〉

(担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ)

ピンネシリ温泉運営事業 決算額 33,682千円(34,665千円)

ピンネシリ温泉(ホテル「望岳荘」)の管理運営に係る費用です。

○中頓別町ピンネシリ温泉の管理運営に係る指定管理料 19,020千円

- ・管理施設—温泉(入浴)施設、宿泊施設
- ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務

・指定期間—平成31年4月1日～令和6年3月31日 5年間

○導水管維持管理委託料 3,542千円

○水質検査手数料等 166千円

○土地賃借料、分湯料（国有林関係）	5千円
○機械設備等点検等委託料	994千円
○機械設備修繕料	2,090千円
○ピンネシリ温泉屋根修繕工事	7,865千円

ピンネシリふれあい公園管理事業 決算額 303千円（331千円）

ピンネシリ温泉に隣接している広場の維持管理や環境美化に関する業務を委託しました。

観光イベント振興事業 決算額 1,650千円（1,650千円）

北緯45度夏まつり及び北緯45度しばれまつりに対して助成を行いました。

・北緯45度夏まつり負担金	800千円
・北緯45度しばれまつり負担金	850千円

観光協会補助事業 決算額 550千円（550千円）

観光宣伝、観光イベント、観光客の誘致等幅広い活動を進める観光協会の事業に対し助成し、町の観光産業の振興に努めました。

○観光協会運営補助金	550千円
------------	-------

観光振興事業 決算額 1,799千円（2,062千円）

関係団体との会議出席のほか、観光施設の維持修繕を行い、観光事業の推進に努めました。

・旅費	101千円
・燃料、消耗品費	132千円
・大畑山展望台広場路面補修工事	1,139千円
・大畑山展望台公園維持管理業務委託料	168千円

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園管理運営事業

決算額 7,196千円（7,215千円）

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の施設管理運営費です。

○中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の管理運営に係る指定管理料	4,704千円
・指定期間—令和2年4月1日～令和6年3月31日	4年間
○ぬく森館機械設備修繕料	930千円
○ぬく森館屋根修繕工事	1,562千円

中頓別町山村交流施設管理運営事業

決算額 15,774千円（15,975千円）

中頓別町山村交流施設（ピンネシリビレッジファームパーク）の施設管理運営費です。

○中頓別町山村交流施設の管理運営に係る指定管理料	13,811千円
・人件費	
・管理施設—ピンネシリビレッジファームパーク〔交流プラザ（道の駅「ピンネシリ」）、オートキャンプ場、コテージ〕、砂金掘体験場	
・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務	
・指定期間—平成31年4月1日～令和6年3月31日	5年間
○敏音知岳登山道修繕工事	1,955千円

南宗谷観光推進連絡協議会事業 **決算額 0千円(10千円)**

枝幸町、浜頓別町、猿払村と連携し、中頓別町を加えた4町村それぞれの特色を組み合わせた観光を推進するための協議会で、浜頓別町が事務局を受け持っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から一時的に活動を休止しており、令和5年度も同様となりました。

そうや自然学校事業 **決算額 3,403千円(3,605千円)**

中頓別町の豊かな自然環境を活用した体験活動を町内外の利用者に提供し地域間の交流促進を図るとともに、地域の魅力を広めるほか、体験観光の展開による地域の活性化に取り組んでいます。

- ・管理運営委託料 3,289千円
- ・特定建築物等定期報告書作成委託料 114千円

地域おこし協力隊事業 **決算額 1,591千円(3,513千円)**

地域おこし協力隊員の募集や活動に必要な研修等の支援を国の推進要綱に基づき、特別交付税を活用して実施しました。

また、着任した協力隊員が地域での活動に十分力を発揮できるように適宜開催される協力隊員向けの各種研修会への参加を推奨しております。令和5年度は2名の協力隊員が計5回参加し、協力隊員活動の先行事例や起業に関する学習、協力隊員同士の連携強化を図りました。

- ・協力隊募集業務委託料 1,564千円
- ・旅費 27千円

観光振興計画フォローアップ事業 **決算額 3,960千円(3,960千円)**

観光振興計画を推進するため、その中核を担うなかとんべつ観光まちづくりビューローの運営安定化を目指し、経営に対する助言や指導、各施策の実施フォロー、観光業界全体の潮流についての情報提供業務を委託しています。

- ・観光振興計画フォローアップ委託料 3,960千円

なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営事業 **決算額 13,395千円(17,856千円)**

敏音知地域を中心とする山村交流施設等の観光資源の活用や情報発信を推進し、地域の活性化、交流人口の増加に取り組む(一社)なかとんべつ観光まちづくりビューローの運営費を助成し、観光振興を図っています。

- (一社)なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営費補助 8,350千円
- 地域おこし協力隊員雇用負担金 5,045千円

土木費

〈土木総務費〉

(担当：建設課建設グループ)

土木総務事業 **決算額 439千円(447千円)**

各種会議への旅費及び道路、河川等の協会負担金、関係図書の購入を行いました。

〈道路維持費〉

(担当：建設課建設グループ)

除排雪事業 **決算額 155,097千円(156,152千円)**

冬期間の快適な生活環境づくりのため、町道や公設駐車場等の除雪・排雪業務を行いました。

- ・除雪トラック購入(1台) 62,177千円
- ・除排雪委託料 79,310千円

上駒駐車場トイレ維持管理事業 **決算額 420千円(422千円)**

上駒駐車場のトイレ清掃を委託し、いつも清潔な状態を保ちました。

道路維持補修事業 **決算額 31,605千円(31,757千円)**

町道の草刈りや砂利均し等の維持作業を業務委託しました。舗装補修(パッチ)や道路を大雨等から守るために砂利道を舗装する工事(道路施設予防保全工事)をしました。

- ・道路維持作業委託料 9,999千円
- ・舗装道路補修費 1,419千円
- ・道路施設予防保全工事 2,871千円

道路照明灯電気料事業 **決算額 964千円(1,070千円)**

歩行者及び車両通行の夜間の安全性確保のために設置している道路照明灯123基分(町道21路線)の電気料を計上しています。

道路台帳整備事業 **決算額 583千円(600千円)**

道路台帳は町道管理に必要な道路の現況や用地を確認することと道路の維持管理に要する経費として交付税措置がされるため、図面及び調書を整備するものです。毎年、道路工事等の変更が生じた分を修正します。

〈橋梁維持費〉

(担当：建設課建設グループ)

橋梁補修事業 **決算額 99千円(100千円)**

橋梁の維持、補修を行いました。

- ・橋梁周辺支障木伐採 99千円

〈道路新設改良費〉

(担当：建設課建設グループ)

普通建設事業(単独) **決算額 1,230千円(1,389千円)**

道路建設事業を行うための人件費及び積算等に係る経費を支出しました。

秋田原野線交付金事業 **決算額 57,002千円(57,002千円)**

小頓別かえで団地付近から秋田地区に向かう町道で、道路改良工事120m及び道路改良工事実施設計業務860mを実施しました。

中頓別弥生線交付金事業 決算額 242,824千円(416,720千円)

※うち、103,193千円は、令和4年度からの繰越明許費です。

※()のうち、173,088千円は、令和6年度への繰越明許費です。

頓別川河川改修に伴い弥生地区一已内橋の架換工事で、令和5年度は橋台下部と橋脚の工事分の負担金を北海道へ支払いました。

道路長寿命化事業 決算額 20,669千円(20,669千円)

町道長寿命化のため、町道旭台宮下線舗装補修工事実施設計業務及び国保病院へ向かう道路の舗装工事を実施しました。

橋梁長寿命化事業 決算額 51,051千円(51,051千円)

町道に架かる橋梁長寿命化のため、松音知地区にある郡橋の補修工事と上頓別地区にある恵野橋の補修設計を実施しました。

藤井原野線整備事業 決算額 22,308千円(22,308千円)

町道藤井原野線整備事業に伴い道路改良工事120mを実施しました。

〈河川総務費〉

(担当：建設課建設グループ)

河川維持事業 決算額 963千円(1,008千円)

普通河川の河床に堆積した砂利撤去等の維持管理経費を支出しました。

樋門樋管管理委託事業 決算額 723千円(740千円)

河川の洪水・氾濫等によって災害が発生しないように宗谷総合振興局稚内建設管理部が管理している2級河川の頓別川、兵知安川にある30ヶ所の樋門・樋管の操作や管理を委託しました。

〈旭台公園費〉

(担当：建設課建設グループ)

旭台公園維持管理事業 決算額 207千円(214千円)

旭台公園の管理を委託し環境美化の向上を図りました。

- ・公園管理委託料 186千円
- ・光熱水費 21千円

〈住宅管理費〉

(担当：建設課建設グループ)

公営住宅維持管理事業 決算額 32,592千円(33,397千円)

※うち、786千円は、令和4年度からの繰越明許費です。

※()のうち、42千円は、令和6年度への繰越明許費です。

住宅の修繕・維持管理に係る費用です。

令和6年3月31日現在の管理戸数 206戸

公営住宅 162戸、特公賃 20戸、独身者住宅 19戸、定住促進住宅 5戸

・施設修繕料（外壁塗装・フェンス修繕等）	2,092千円
・西団地公営住宅外壁改修工事1棟4戸	9,004千円
・あかね団地公営住宅解体工事（2棟）	10,450千円

〈住宅建設費〉

（担当：建設課建設グループ）

住宅建設促進事業 決算額 21,009千円（21,009千円）

町民の持ち家住宅を促進するため、中頓別町住宅建設促進条例に基づき、町内に住宅を新築又は増改築する方及び町内に賃貸住宅を建設する方に対し費用の一部を助成することにより、良質な賃貸住宅の供給の促進と町民の定住促進を図りました。

・営繕工事積算標準単価利用料	231千円
・賃貸住宅建設促進助成金（1件1棟6戸）	18,000千円

危険廃屋解体撤去助成事業 決算額 3,000千円（3,750千円）

※うち、1,030千円は、令和4年度からの繰越明許費です。

町内に存する老朽化し危険な状態にある廃屋化した建築物等の解体撤去をする方に対し経費の一部を助成し、景観や住環境向上、町民の安心安全を図っています。

・危険廃屋解体撤去補助金 3件	1,970千円
-----------------	---------

消防費

〈消防費〉

（担当：南宗谷消防組合中頓別支署）

消防本部費 決算額 10,322千円（10,637千円）

南宗谷消防組合の議会費、総務費、消防本部費等の負担金を支出しました。

消防署管理経費 決算額 3,229千円（3,452千円）

消防庁舎、通信設備、庁用備品等の維持管理に要した費用です。

・需用費（消耗品、光熱水費、修繕費）	1,497千円
・役務費（通信運搬費、火災保険料）	723千円
・委託料（自家用電気工作物、庁舎設備機器、自動ドア委託業務）	368千円
・使用料及び賃借料（LEDリース料、NHK放送受信料、コピー機使用・リース料）	433千円
・備品（伸縮脚立、掃除機、FF式石油ストーブ）	208千円

消防庶務業務 決算額 962千円（979千円）

予算・経理に関する事項、職員の被服装備品の整備、安全衛生管理、労務管理等のほか、一般的な庶務事務に関わる事務処理に要した費用です。

・需用費（消耗品、職員制服費、印刷製本費）	928千円
・役務費（職員健康診断文書料、アルコールチェッカー一点検料）	34千円

警防業務事業 **決算額 3,711千円(4,071千円)**

町民の人命救助を最優先に、火災・救助・災害の警戒及び防御を目的として、各種訓練、研修の実施、緊急時における適切な消防車と資機材の維持管理、消防水利の維持管理に要した費用です。

- ・ 需用費（消耗品、燃料費、車検修繕費） 2,768千円
- ・ 役務費（空気ボンベ耐圧検査、車検代行料、無線局再免許申請手数料、自動車保険料） 401千円
- ・ 原材料費（消火栓・防火水槽） 20千円
- ・ 備品（消火用ホース、車両バッテリー、無線機予備電池パック） 391千円
- ・ 公課費（重量税） 131千円

予防業務事業 **決算額 149千円(152千円)**

啓蒙旗設置、啓蒙看板作成、火災予防運動広報、年末警戒、町内回覧防火啓蒙等の火災予防思想の普及啓発活動に要した費用です。

- ・ 需用費（消耗品） 127千円
- ・ 役務費（防火防災訓練補償保険料） 5千円
- ・ 原材料費（火災予防運動用） 17千円

各種研修事業 **決算額 816千円(866千円)**

消防学校以外の短期の研修や各種資格取得のための研修、専門会議等に要した費用です。

- ・ 旅費 276千円
- ・ 使用料及び賃借料（駐車場使用料） 7千円
- ・ 負担金 533千円

救急業務事業 **決算額 1,885千円(2,099千円)**

救急出動、救急活動を円滑に実施するため、救急業務に対する検証、救急救命士の病院実習、救急車・救急資機材の維持管理、また、救命率向上に必要な応急手当普及活動等、救急業務全般に要した費用です。

- ・ 旅費（救命士病院実習、救急町外搬送） 435千円
- ・ 需用費（消耗品、高機能感染防止衣） 404千円
- ・ 役務費（通信運搬費、酸素ボンベ耐圧検査、車検代行料、各種救急資機材保守点検料、自動車保険料） 605千円
- ・ 委託料（各種予防接種料、旭川赤十字病院検証委託料） 410千円
- ・ 使用料及び賃借料（駐車場代） 4千円
- ・ 負担金（救急救命士病院実習及び再講習） 27千円

消防学校派遣事業 **決算額 767千円(769千円)**

消防職員として必要な専門知識及び技術の習得、規律の保持等、効率的に職務を遂行できる人材育成を目的として消防学校へ派遣する事業です。

令和5年度は北海道消防学校の初任教育課程及び救急科への派遣経費に要した費用です。

- ・ 旅費（初任教育課程1名、専科教育救急科2名） 504千円
- ・ 役務費（初任教育課程入校職員健康診断文書料） 2千円

- ・委託料（初任教育課程入校職員健康診断委託料） 5千円
- ・使用料及び賃借料（駐車場代） 1千円
- ・負担金（北海道消防学校） 255千円

給与関連事業 決算額 88,987千円(89,841千円)

消防職員の給与支払事務等に関する業務で、給料、職員手当等、共済費、負担金等人件費に要した費用です。

- ・職員給与 43,757千円
- ・職員手当 29,839千円
- ・共済費 14,470千円
- ・退職手当負担金 921千円

消防団員管理事業 決算額 5,411千円(5,824千円)

消防団活動を円滑に進めていくため、団員の被服装備品の整備、報酬、旅費、災害補償関係等に要した費用です。

- ・報酬（団員年間報酬、各種出勤報酬） 3,122千円
- ・消防団員福祉共済掛金 62千円
- ・旅費 58千円
- ・需用費（団員制服費、印刷製本費） 828千円
- ・消防団員マイカー保険料 10千円
- ・負担金（消防団員等公務災害補償負担金） 1,331千円

消防分団管理事業 決算額 2,349千円(2,595千円)

消防団管轄の消防車や活動資機材の維持管理、消防団詰所の維持及び備品の維持管理に要した費用です。

- ・需用費（消耗品、燃料費、光熱水費、車検修繕費） 1,717千円
- ・役務費（通信運搬費、車検代行料、敏音知会館合併浄化槽検査及び汚泥抜き取り料、自動車保険料、小頓別消防詰所火災保険料） 262千円
- ・委託料（敏音知会館合併浄化槽保守管理委託料及び消防施設管理委託料、小頓別消防詰所管理委託料） 164千円
- ・負担金（宗谷管内陸地市町村交流研修会） 50千円
- ・公課費（重量税） 156千円

消防設備整備事業 決算額 3,300千円(3,300千円)

町内の消火栓、防火水槽新設、維持管理に必要な費用です。令和5年度は機能低下が見られる消火栓2基の取替を実施しました。

- ・工事請負費（消火栓取替工事）

教育費

〈教育委員会費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教育委員会事業

決算額 666千円(699千円)

- ・教育委員会開催状況：12回
- ・学校訪問：学校行事及び授業参観、公開授業参観等の訪問を行いました。
- ・教育委員研修：宗谷管内教育委員研修会にオンラインで参加しました。
- ・教育委員報酬：教育委員の報酬を支出しました。

〈事務局費〉

(担当：教育委員会教育グループ・教育委員会新しい学校づくり推進室)

外国青年招致事業(英語指導助手) 決算額 4,187千円(4,194千円)

こども園、小中学校、英会話教室等、語学教育の充実を図るとともに、地域国際交流の推進に努めました。令和3年度より1名を中学校に常駐させています。

中学校部活動振興事業 決算額 323千円(323千円)

生徒の身体及びスポーツ技術の向上、管内中学校との交流と親睦を図ることを目的としています。管内及び全道大会の参加やユニフォーム費用の補助を行い、保護者負担を軽減しました。

- ・卓球部ユニフォーム代 10千円

教育委員会事務局事業 決算額 94,923千円(97,428千円)

教育委員会の補助機関として教育委員会事務局が設置され、教育委員会の職務権限に属する事務を具体的に処理するため事務局職員の給料等の支払いのほか、児童生徒・教職員の健康診断や一般事務に要する経費に充てました。

教育研究指定校委託事業 決算額 100千円(100千円)

特色ある学校経営の活動について研究し、教育効果を高めることを目的として各学校に委託しました。その結果を集約し研究紀要として報告を受けました。

教職員健康診断事業(人間ドック) 決算額 72千円(84千円)

教職員の健康の保持増進及び病気の早期発見等に努めました。

公用車両維持管理事業 決算額 12,814千円(14,196千円)

通学用スクールバスの運行、校外学習、各種スポーツ大会参加時の運行及び事務局車両の維持管理に充てました。

中頓別町教育研究会運営事業 決算額 262千円(262千円)

中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営方針に則り、教育課程の改善、充実を図るための経費です。サークル活動や研究大会等の活動を実施しました。

特別支援教育連携協議会運営事業 決算額 140千円(140千円)

発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、総合的な支援体制のあり方や障がいに対する理解を町民や関係者で共有していくために支援しました。講演会は中頓

別町PTA連合会と共催で行いました。

英語力育成事業 **決算額** 13,825千円(13,828千円)

英語検定の検定料の補助金を支出しました。

- ・英語検定：小学生 2名、中学生 24名

学習習慣育成事業 **決算額** 134千円(169千円)

漢字検定の検定料の補助金を支出しました。

- ・漢字検定：小学生 32名、中学生 12名

中頓別学園整備事業 **決算額** 84,935千円(244,838千円)

※()のうち、159,500千円は、令和6年度への繰越明許費です。

人生100年の学びの拠点として学校機能だけではなく、将来を見越して長く町民が使える施設、大人も子どもも生涯を通じて学び交流することができる居場所となる施設を目指して設計しました。令和5年度は基本設計業務委託料、実施設計支援業務委託料、用水路改変工事費等を支出しました。

- ・全体協議会 6回開催

〈住宅管理費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教職員住宅管理事業 **決算額** 1,284千円(1,300千円)

教職員住宅の維持管理に係る経費に充てました。

- ・小破修繕等 9件

〈学校管理費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

小学校施設維持管理事業 **決算額** 19,536千円(22,081千円)

児童が快適・安全に学校生活を送れるように小学校施設を維持管理するための経費に充てました。

- ・備品購入費(スポットライト、配膳台、掃除機) 701千円

中学校施設維持管理事業 **決算額** 12,995千円(14,625千円)

生徒が快適・安全に学校生活を送れるように中学校施設を維持管理するための経費に充てました。

- ・備品購入費(シュレッダー、ポータブル電源) 228千円

〈教育振興費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

小学校教育振興事業 **決算額** 1,856千円(2,290千円)

児童に対する教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るために必要な経費に充てました。

- ・図書購入費 219千円

- ・備品購入費（バスマスター、ガスコンロ、ミシン、綱引きロープ） 685千円

中学校教育振興事業 決算額 1,192千円（1,919千円）

生徒に対する教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るための経費に充てました。

- ・図書購入費 116千円
- ・備品購入費（ミシン、3Dプリンター） 439千円

就学奨励事業 決算額 879千円（1,130千円）

経済的な理由によって就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して必要な援助を行いました。

- ・新規：1名、継続：8名

〈社会教育総務費〉

（担当：教育委員会教育グループ）

社会教育推進事業 決算額 524千円（826千円）

本町の社会教育事業のあり方について協議検討を行い、社会教育事業や生涯学習・まちづくり活動に積極的に参加できる体制を支援しました。

少年教育推進事業 決算額 4,959千円（5,117千円）

地域の資源や文化を活かす子どもの体験活動や学習機会を提供し、青少年の健全育成を図りました。

- ・中頓別町PTA連合会運営事業補助 250千円
- ・管内PTA連合会研究大会 100千円
- ・生徒指導連絡協議会運営補助 150千円
- ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業 4,455千円

青年教育推進事業 決算額 99千円（110千円）

成人式対象者14名に対するオリジナル図書の購入等、成人式運営に要する経費に充てました。

高齢者教室推進事業 決算額 36千円（67千円）

趣味や娯楽等のサークル活動を実施しました。また、層雲峡方面にリフレッシュ研修旅行を実施しました。

- ・パソコン教室

芸術文化推進事業 決算額 575千円（581千円）

個人や団体サークル、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、お互いの交流を図りました。

- ・町民文化祭実行委員会運営補助金 120千円

夢と希望を！感動体験事業 決算額 1,256千円（2,000千円）

次代を担う子ども達の健やかな成長と教育の向上に資することを目的として、未来を担うこどもの健全育成と教育の基金を財源に、20歳までの町民が学校単位や子ども育成会、分団活動、スポーツ少年団活動等において取り組む各種体験活動に補助金を支出しました。

・プロスポーツ観戦事業（プロ野球）	909千円
・中学校本物感動体験修学旅行事業	135千円
・中学校本物感動体験自然体験事業	64千円
・スキーの魅力体験事業	148千円

〈町民センター費〉

（担当：教育委員会教育グループ）

町民センター運営維持管理事業 決算額 10,007千円（11,657千円）

地域住民のコミュニティ活動、社会教育、生涯学習の場の拠点として利活用を図るため、施設の維持管理に要する経費に充てました。

〈社会教育施設費〉

（担当：教育委員会教育グループ）

郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業

決算額 5,436千円（5,925千円）

郷土資料館、図書室、柔剣道場の光熱水費等の維持管理に要する経費を計上しています。

また、子どもからお年寄りまで利用しやすい生涯学習の拠点としての図書室の充実を図るため、計画的に蔵書を整備しました。

読書活動推進事業

決算額 15千円（56千円）

○なかとんべつ子ども読書プラン事業

令和3年3月に中頓別町子どもの読書活動推進計画〔第3次計画〕を策定しました。生涯における読書の習慣化に向けた取り組みとともに、誰もが利用しやすい施設を目指しています。

赤ちゃんから絵本に親しみ、また、町図書室や認定こども園、学校図書室との連携を図りながら、子どもを中心とした読書活動の支援をしました。

○ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくり、絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本等が入ったブックスタート・パックを手渡します。町で地域に生まれたすべての赤ちゃん（対象者9名）に乳幼児検診の時に「いきいきふるさと推進事業」と同時に実施しました。

○絵本の読み聞かせ事業

読書活動の推進を地域全体での取り組みにすため、絵本の読み聞かせボランティアの活動について支援をしました。

〈多目的集会施設費〉

（担当：教育委員会教育グループ）

多目的集会施設維持管理事業

決算額 1,205千円（1,365千円）

小頓別地区の住民活動の場として活用している多目的集会施設の光熱水費等、維持管理に

要する経費に充てました。

〈創作活動施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

創作活動施設運営管理事業 **決算額 322千円(579千円)**

中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体やサークルのネットワークづくり、創作活動の拠点として活用している創作活動施設の維持管理に要する経費に充てました。

〈保健体育総務費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

社会体育推進事業 **決算額 1,865千円(2,236千円)**

○社会体育推進事業

各種研修会への参加や町内スポーツ大会・教室等のあり方についての協議や少年団活動支援に係る経費及びスポーツ巡回車の維持管理等に要する経費に充てました。

- ・各スポーツ少年団指導者への支援 175千円
- ・スポーツ少年団本部運営補助 125千円

○スポーツ推進委員会運営事業

スポーツ団体サークルが自主的・自発的にスポーツ活動を継続的に活動するために、研修や会議等の機会提供を図っています。

○町民各種スポーツ大会等運営事業

- ・町長杯争奪町民パークゴルフ大会 25千円
- ・町民ソフトボール大会 20千円
- ・町民駅伝大会 87千円
- ・夏休みラジオ体操会 20千円

○冬季スポーツ教室運営事業

- ・町民スノーフェスティバル 128千円
- ・寿スキー場ジュニアスキー大会 51千円
- ・冬季スポーツ教室運営事業 57千円
- ・ジュニア・キッズスキー教室 50千円

社会体育施設運営事業 **決算額 969千円(1,036千円)**

学校クラブ活動や町内で活動しているスポーツ団体、サークル・愛好団体の活動の場所として利用されている町民体育館の維持管理に要する経費に充てました。

〈山村プール費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

山村プール運営事業 **決算額 2,187千円(2,267千円)**

学校授業や一般町民の健康体力づくり、児童生徒の健全育成のために開設している山村水泳プールの維持管理に要する経費に充てました。

〈寿野外レクリエーション施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

寿野外レクリエーション施設事業

決算額 31,985千円(32,646千円)

社会教育施設等(寿スキー場、野外レクリエーション施設、寿公園)の管理運営に要する経費に充てました。

・社会教育施設等指定管理料 31,746千円

〈学校給食費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

学校給食事業

決算額 17,202千円(17,767千円)

子ども達に望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身につけさせるように食育の推進を図りました。各学校における給食回数は小学校で202日、中学校で197日、給食センターの稼働日数は204日となりました。これに伴い保護者負担となる学校給食費補助金を家計への配慮及び更なる子育て環境整備のため全額補助としました。引き続き食育を通じて児童生徒の健全育成を推進するように努めます。

【 特別会計 】

自動車学校事業特別会計

(担当：自動車学校)

自動車学校事業

決算額 68,540千円(69,572千円)

一般会計繰入金 33,000千円(34,054千円)

自動車免許取得のための教習、高齢者の免許更新時講習及び取得者教育等の業務を実施し、地域における交通安全教育センターとしての積極的な活動の推進に努めました。教習生や受講者に安心して利用いただくため、老朽化した施設の修繕や備品の購入等、維持運営に必要な経費を支出しました。

・人件費 報酬, 給料, 職員手当, 共済費, 退職手当組合負担金 41,360千円
・需用費 施設修繕費(コース・標識・分電盤等修繕) 1,938千円
・備品購入費 日立教習用シヨベルローダ、シミュレータ買取 10,780千円
・使用料及び賃借料 除雪用シヨベルリース料 1,773千円

国民健康保険事業特別会計

(担当：保健福祉課福祉グループ)

国民健康保険事業 **決算額** 227,766千円(292,888千円)
一般会計繰入金 11,287千円(11,633千円)

国民健康保険は日本に住む誰もが安心して医療を受けることができる「国民皆保険制度」を維持しており、病気やケガをしたときに安心して病院を受診することができるように医療費の一部を国と国保加入者のみなさんの保険税で負担し合う制度です。

- ・ 総務費 6,278千円
- ・ 医療給付事業 163,174千円
疾病時の入院や入院外（外来受診）の医療費を支出します。
- ・ 国民健康保険事業費納付金 51,612千円
- ・ 共同事業拠出金 1千円
- ・ 保健事業費 4,629千円
特定健診を実施し、早期発見と予防事業に係る経費を支出します。
- ・ 諸支出金 2,072千円

介護保険事業特別会計

(担当：保健福祉課福祉グループ)

介護保険事業（保険事業勘定）

決算額 232,295千円(246,692千円)
一般会計繰入金 32,413千円(34,464千円)

介護保険制度は高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことができるように、また、要支援状態とならないように様々な地域支援事業や、要支援状態、要介護状態となった高齢者への介護保険サービスを推進しています。

- ・ 総務費 7,504千円
- ・ 保険給付費 209,731千円
 - 介護サービス等諸費 184,716千円
 - 介護予防サービス等諸費 3,907千円
 - その他諸費 142千円
 - 高額介護サービス等費 5,589千円
 - 高額医療合算介護サービス等費 0千円
 - 特定入所者介護サービス費 15,377千円
- ・ 地域支援事業 8,197千円
- ・ 基金積立費 1千円
- ・ 諸支出金等 6,862千円

介護保険事業（介護サービス事業勘定）

決算額 56,501千円（58,757千円）
一般会計繰入金 34,800千円（37,001千円）

令和5年度から在宅事業の充実を図るため、新たに介護サービス事業勘定予算を計上しています。在宅事業はデイサービスセンターと訪問介護事業所で、家族の介護負担の軽減や利用者のニーズに対応してきました。

機能訓練の実施や口腔機能の向上を図りながら、デイサービス本来の機能維持に努め、また、通信カラオケを導入し、趣味活動等で他者との交流を図りながら生活リハビリに努めてきました。

高齢者が自立した在宅生活が送れるように高齢者のニーズを的確に捉えたサービスができる体制を構築し、住み慣れた自宅で1日でも長く生活ができるように取り組んでいきます。

・一般管理費	56,501千円
報酬	3,916千円
給料	22,797千円
職員手当等	8,070千円
共済費	5,372千円
旅費	13千円
需用費	9,405千円
役務費	805千円
委託料	4,011千円
使用料及び賃借料	604千円
負担金補助及び交付金	1,458千円
公課費	50千円

後期高齢者医療事業特別会計

（担当：保健福祉課福祉グループ）

後期高齢者医療事業 決算額 33,178千円（34,516千円）
一般会計繰入金 13,723千円（13,770千円）

後期高齢者医療事業は老人保健事業に替わる制度で75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害のある方が加入する医療保険制度です。

全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が設立し事業の運営にあたります。

市町村の役割は、保険料の徴収、各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡し等の業務を行うことになり、事業運営のための経費を計上するものです。

・総務費	1,603千円
・後期高齢者医療広域連合納付金	31,489千円

水道事業特別会計

(担当：建設課上下水道グループ)

簡易水道事業 決算額 409,749千円(547,437千円)

※うち、124,229千円は、令和4年度からの繰越明許費です。

※()のうち、99,273千円は、令和6年度への繰越明許費です。

一般会計繰入金 143,925千円(182,925千円)

※うち、48,900千円は、令和4年度からの繰越明許費です。

※()のうち、39,000千円は、令和6年度への繰越明許費です。

水道は清浄な水道水を供給する生活環境施設として重要な役割を担っています。

令和5年度につきましては、前年度に引き続き浄水場設備更新工事を実施しましたが、世界的な半導体不足による電機品の供給不足に起因する一部機器の納品遅延により、年度内に工事完了出来なかった部分について繰越事業としました。また、浄水場水処理棟の屋根が経年劣化及び例年以上の降雪により破損したため、屋根の損壊等で水処理に支障が出ないように修繕を実施、令和6年度に実施する導水管布設替工事に係る実施設計業務委託、地方公営企業法の適用事業とするため、移行事務支援として簡易水道事業法適用化支援業務委託を実施、並びに北海道事業である頓別川広域河川改修工事に係る一已内橋の架け替えに伴い、橋梁添架のための水道管受台制作に係る負担金の支出を行いました。その他、水道施設等の維持管理を重点に予算計上し、豊富で清浄な水道水を造り、経営の健全化に努めました。

・ 水道施設修繕費	13,483千円
中頓別浄水場 取水施設堆積土砂撤去工事	660千円
中頓別浄水場水処理棟屋根修繕	8,305千円
松音知ポンプ室他3ヶ所UPS修繕	1,034千円
秋田増圧ポンプ場増圧ポンプNo.2インバータ修繕	880千円
施設・配水管修繕費	2,604千円
・ 中頓別町水道施設維持管理業務委託料	9,653千円
・ 導水管布設替実施設計業務委託料	9,427千円
・ 簡易水道事業法適用化支援業務委託料	2,420千円
・ 量水器取替工事(123台)	1,837千円
・ 中頓別浄水場設備更新工事	182,633千円
・ 中頓別浄水場設備更新工事(繰越)	124,229千円
・ 頓別川広域河川改修工事附帯上水道管移設工事に伴う負担金	2,876千円

下水道事業特別会計

(担当：建設課上下水道グループ)

下水道事業 **決算額 91,996千円(145,252千円)**
一般会計繰入金 105,635千円(105,635千円)

下水道事業は公共水域の水質保全と快適な生活環境づくりとの重要な役割を担っています。令和5年度は中頓別町下水道ストックマネジメント計画に基づいた下水道施設の設備更新工事に係る実施設計委託を実施しました。また、令和6年度から地方公営企業法の適用事業とするため、移行事務支援として特定環境保全公共下水道事業法適用化支援業務委託を実施しました。併せて下水道施設の維持管理を重点に予算を計上し、よりよい環境づくりとより効率的な施設管理に努めました。

・下水道施設修繕費	400千円
下水道施設・下水道管修繕費	400千円
・下水道管理センター 維持管理業務委託料	20,783千円
・中頓別町下水道管理センター設備更新実施設計業務委託料	9,570千円
・特定環境保全公共下水道事業法適用化支援業務委託料	2,200千円
・あかね地区公共樹新設工事	1,337千円
・下水道管理センター水質試験用蒸留水製造装置購入	735千円

国民健康保険病院事業会計

(担当：国保病院)

医療機械器具等整備事業 **決算額 3,040千円(3,042千円)**

住民の皆様により良い医療サービスを提供するため、老朽化・故障した医療機器等を更新及び新規導入しました。

・低周波治療器	・エアマットレス
・車イス	・リクライニング車イス
・歩行器	・酸素流量計
・クランケチェア	・書類保管用ロッカー

研修医住宅車庫購入事業 **決算額 855千円(855千円)**

令和元年度に建築した研修医住宅用に新規に車庫を設置しました。